



FMV ESPRIMO

取扱説明書 スタートガイド

Step1 パソコンの品名を確認してください

お使いのパソコンを識別するために品名を書きおきましょう。

保証書の左上またはパソコン本体裏面に記載されている品名を書き写してください。

品名 ESPRIMO



Step2 箱の中身を確認してください

重要

- ▶ ご購入後すぐに添付品をご確認ください。添付品が不足している場合は、富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口（→ P.72）にご連絡ください。添付品は絶対に紛失しないように大切に保管してください。添付品を紛失した場合は、有料でのご提供となる場合があります。また、ご提供できない添付品もあります。あらかじめご了承ください。

記載している添付品とは別に、注意書きの紙などが入っている場合があります。すべて大切に保管してください。

添付品の名称	ESPRIMO			
	WF-X/G1	FH90/F3 FH77/F3	FH70/F3 FH60/F3 WFB/F3	WF2/F3 WF1/F3
パソコン本体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保証書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
取扱説明書<スタートガイド>（この本です）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ACアダプタ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
電源ケーブル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キーボード	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キーボード用ストッパーゴム（丸いゴム ×4 個）	<input type="checkbox"/> [注1]	<input type="checkbox"/> [注1]	—	<input type="checkbox"/> [注1]
マウス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
乾電池（キーボード用、マウス用）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リモコン	<input type="checkbox"/> [注2]	<input type="checkbox"/>	—	<input type="checkbox"/> [注2]
乾電池（リモコン用）	<input type="checkbox"/> [注2]	<input type="checkbox"/>	—	<input type="checkbox"/> [注2]
テレビ操作ガイド	<input type="checkbox"/> [注2]	<input type="checkbox"/>	—	<input type="checkbox"/> [注2]
miniB-CASカード	—	<input type="checkbox"/>	—	<input type="checkbox"/> [注2]

注1：WF-X/G1、FH90/F3 および WF2/F3 に添付されています。

注2：ご購入時にテレビチューナーを選択した場合に添付されています。

Step3 使い始める準備をしてください

次の点に注意し、本書に記載された手順に従って準備してください。

- セットアップを進めるには、インターネットへの接続が必要です。
無線 LAN や有線 LAN でインターネットに接続できる場所で実施してください。
- Windows のセットアップ中に電源を切らないでください。
- トラブルが発生したときは、あわてずに本書の「困ったときは」（→ P.63）をご覧ください。

目次

このパソコンをお使いになる前に	2
マニュアルの表記	3
安全上のご注意	6
取り扱い上のご注意	10
各部の名称について	14

セットアップする 16

セットアップの流れを確認する	16
インターネット接続の準備をする	17
パソコンの準備をする	18
Windowsのセットアップをする	23
デバイス暗号化の回復キーを保管する	38
「アップデートナビ」の初期設定をする	42
「はじめに行う設定」で初期設定する	43
「詐欺ウォール」の初期設定をする	47
パソコンの始め方と終わり方	49

使い始める 51

回復ドライブ（リカバリ用）を作成する	52
「いつもアシスト ふくまる」を利用する	53
「AI ノイズキャンセリング」を使う	54
瞬感起動を設定する	55
Officeを利用する	57
ビギナーガイドでパソコンに慣れる	57
Windows 11について知る	57
「富士通アドバイザー」を活用する	58
バックアップする	60
「ソフ得」ソフト使い放題	61
家族のパソコンやスマホを守る	62

困ったときは 63

使い方がわからない	63
動作がおかしい	66
故障かな？と思ったら	67
富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口	72
修理の申し込み	73

パソコンを初期状態に戻す（リカバリ） 75

パソコンを初期状態に戻す（リカバリ）	75
このPCを初期状態に戻す（リカバリ）準備	76
このPCを初期状態に戻す（リカバリ）	77
リカバリUSBメモリを購入してリカバリする	79

こんなときは 80

パソコンの電源を完全に切るには	80
起動メニューの表示のしかた	80
パソコンを廃棄・リサイクルするときは	80
疲れにくい使い方	81

仕様一覧 82

パソコン本体の主な仕様	82
-------------	----

富士通パーソナルコンピュータ修理規定 90

セットアップする

パソコンを初期状態に戻す（リカバリ）

困ったときは

活用方法からトラブル解決まで、役立つ情報が盛りだくさん！

FMV サポートページ

<https://azby.fmworld.net/support/>



使い始めに見る Q&A、よくあるトラブル

Windows 11 スタートガイド

→ azby.fmworld.net/win11/



基本操作、文字入力、セキュリティ、etc..

パソコンが初めての方



ビギナーガイド

→ azby.fmworld.net/usage/beginners_guide/



スマホで
簡単アクセス



このパソコンをお使いになる前に

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをおとりください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低有効期間は、製造終了後6年間です。

使用許諾契約書（ライセンス条項）

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。「ソフトウェアの使用条件」は、本製品内に格納されています。セットアップ時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、ファイルの検索で「OEMEULA.rtf」を検索してください。ただし、本ソフトウェアのうち、Windows ストア アプリについては、本契約は適用されず、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項が適用されます。なお、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項に加えて、個別の追加条件が適用される場合があります。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日ごろからバックアップをとられることをお勧めします）。

液晶ディスプレイの特性について

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください）。
- ・製造工程上やご利用環境によって空気中の微細な異物が混入する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- ・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

本製品のハイセーフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセーフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセーフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセーフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
 - ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1日約8時間、1ヶ月に25日のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
 - ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液のれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
 - ・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
 - ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。
- <主な有寿命部品一覧>
液晶ディスプレイ、ハードディスクドライブ、SSD、光学ドライブ、キーボード、マウス、ACアダプタ、電源ユニット、ファン

消耗品について

- ・バッテリーパックや電池等の消耗品は、その性能/機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身の新品購入ならびに交換となります。

24時間以上の連続使用について

- ・本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

本製品のご利用について

- ・本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。
- ・本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)
- ・本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。
- ・本製品の構成部品（プリント基板、光学ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。
- ・本製品は電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの6物質>の含有表示を規定するJIS規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本製品における特定の化学物質（6物質）の詳細含有情報は、下記URLをご覧ください。
<http://www.fmworld.net/fmv/jmoss/>
- ・クラス1レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

クラス1レーザ製品 IEC 60825-1:2014

- ・本装置は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マーク  を画面に表示することができます。
- ・本製品に接続するLANケーブルはシールドされたものでなければなりません。
- ・本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

マニュアルの表記

本書の内容は2022年2月現在のものです。

お問い合わせ先やURLなどが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

■操作手順と画面について

Windows 11は、機能の追加や改善、セキュリティの向上を目的とし、インターネットを通じて自動で更新されます。また、ソフトウェアやドライバなども機能の改善や追加のため、適宜更新されます。そのため、本書をご覧になる時期により、操作手順や画面に表示される内容などが変わる場合があります。

■安全にお使いいただくための絵記号について

本書では、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するためのシンボルマークと警告絵文字を使っています。

□警告レベルを表すシンボルマーク

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

□危害や損害の内容を表す警告絵文字

△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。			
	特定の条件において、破裂する可能性について注意を喚起します。		特定の条件において、高温による傷害の可能性について注意を喚起します。
	特定の条件において、レーザー光を直視する危険性について注意を喚起します。		特定の条件において、けがする可能性について注意を喚起します。

⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。

 一般禁止	一般的な禁止行為や禁止事項を示します。	 火気禁止	特定の条件において、外部の火気によって製品の発火する可能性を示します。
 接触禁止	特定の条件において、機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示します。	 水場使用禁止	防水処理のない機器を水場で使用して漏電によって傷害が起こる可能性を示します。
 分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。	 ぬれ手禁止	機器を濡れた手で扱うと、感電する可能性を示します。
 水ぬれ禁止	防水処理のない機器を水がかかる場所で使用または、水に濡らすなどして使用すると、漏電して感電や発火する可能性を示します。		

●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

 アース線を接続せよ	安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示します。	 プラグを抜け	故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示します。
 一般指示	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。		

■危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■本文中での書き分けについて

本書には、複数の機種の内容が含まれています。お使いの機種によっては、記載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は、書き分けています。

お使いの機種に機能が搭載されているかを「各部の名称について」、「仕様一覧」、製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/fmv/>) で確認して、機種にあった記載をお読みください。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	冊子のマニュアルを表しています。
	「富士通アドバイザー」で見るマニュアルを表しています（→ P.58）。
	参照ページを表しています。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なる場合や、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略している場合があります。

■操作手順について

本書では、連続する操作手順を「▶」でつなげて記述しています。
なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

■電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。

■「ハードディスク」の表記について

SSD 搭載機種の場合、このパソコンに内蔵されたハードディスクを示す箇所は、SSD に読み替えてください。

■製品の呼び方

このマニュアルでの製品名称を、次のように略して表記することがあります。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 11 Home	Windows または Windows 11
Windows 11 Pro	
Microsoft Office Personal 2021	Office または Office Personal 2021
Microsoft Office Home & Business 2021	Office または Office Home & Business 2021
Microsoft Word	Word ^[注 1]
Microsoft Excel	Excel ^[注 1]
Microsoft Outlook	Outlook ^[注 1]
Bluetooth [®]	Bluetooth
BDXL [™] 対応 Blu-ray Disc ドライブ	Blu-ray Disc ドライブまたは光学ドライブ ^[注 2]
スーパーマルチドライブ	光学ドライブ ^[注 2]
SSD	ストレージ
ハードディスクドライブ	
ATOK for Windows	ATOK
マカフィー [®] リブセーフ [™]	マカフィー リブセーフ
「ソフ得」ソフト使い放題 by OPTiM	ソフト使い放題
i-フィルター [®] for マルチデバイス	i-フィルター

注 1：これらのアプリをまとめて「Office」と表記することがあります。

注 2：搭載されている光学ドライブは、「仕様一覧」(→ P.82) でご確認ください。

また、本文中では本製品をシリーズ名で表記することがあります。シリーズ名は「仕様一覧」(→ P.82) でご確認ください。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。「安全上のご注意」はインターネット上でも公開しています。

<https://azby.fmworld.net/support/manual/safety/>
ACアダプタと電源ケーブルが添付されている場合、ここでは、ACアダプタのケーブルと電源ケーブルを合わせて「電源ケーブル」と表記している箇所があります。

お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

設置／準備

警告



プラグを抜く

コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながるおそれがあります。



一般禁止

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。



一般指示

台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないよう載せてください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般指示

転倒防止の処置をしてください。
地震が発生した場合などに、本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。
設置台や床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。



一般禁止

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。



一般禁止

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因になります。



一般禁止

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用AC電源など）に接続しないでください。
火災の原因になることがあります。



一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。
ケーブルに足を引っ掛け、転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。



一般禁止

添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電、火災の原因になります。



一般指示

電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。



一般指示

電源ケーブルやACアダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。
不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。



一般禁止

タコ足配線をしないでください。
感電、火災の原因になります。



アース線を接続せよ

電源プラグにアース線が付いている場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。



一般禁止

アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

濡れた手で電源ケーブルやACアダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



一般禁止

ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因になります。

注意



一般禁止

本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になることがあります。



一般禁止

本製品やACアダプタを直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



プラグを抜く

本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。
電源ケーブルやACアダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。

- ・電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ・接続されたケーブルなどを外してください。
- ・作業は足元に充分注意して行ってください。



一般禁止

本製品を設置する場所付近に、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む空間除菌薬の設置をお控えください。また、本製品や設置するエリアを消毒する場合には、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む消毒薬は使用しないでください。
塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。

使用時

警告



火気禁止

火中に投入、加熱しないでください。
発煙、発火、破裂の原因になります。



一般禁止

端子をショートさせないでください。
感電、火災の原因になります。



プラグを抜け

発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



プラグを抜け

落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電、火災の原因になります。



一般禁止

本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般禁止

排気孔付近や AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接接触して使用しないでください。
排気孔からの送風に長時間あたらさないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。
低温やけどの原因になります。



水場使用禁止

風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になります。



水ぬれ禁止

本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。



一般禁止

使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないようにしてください。
通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にはこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因になります。



一般禁止

タッチパネルはガラスを使用しているため、急激な衝撃を与えたり、本製品を転倒・落下させないでください。
破損するおそれがあります。また、破損した場合は、ガラスの破片に直接触れないよう注意して清掃してください。けがをすることもあります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般指示

ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。
誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。
感電、火災の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。
液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。

- ・ショートさせない
- ・加熱したり、火の中に入れてはいけない
- ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れてはいけない
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
- ・乾電池を充電しない
- ・ハンダ付けをしない



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタが傷ついている場合は使用しないでください。
感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。

無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth®、ワイヤステクノロジー、NFC ポート、ワイヤレスキーボード/マウスの注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- ・病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- ・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- ・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- ・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
- ・満員電車の中など付近（15cm（NFC ポートは 12cm））に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所



一般禁止

ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
感電、火災の原因になります。



ACアダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。
ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。



本製品は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

- ・光源部を見ないでください。
- ・光学ドライブのレーザー光の光源部を直接見ないでください。また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。レーザー光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
- ・お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。レーザー光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。

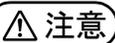


レーザーマウスは底面から、目に見えないレーザー光が出ています。

クラス 1 レーザー製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。



イヤホン・ヘッドホンなどをお使いの場合は、長時間音量を大きくして聞かないでください。
難聴の原因となります。



本製品の上に重いものを置かないでください。
けがの原因となることがあります。



本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。

- ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- ・いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
- ・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- ・キーボードやマウスは、肘の角度が90度以上になるように使用する。



光学ドライブのトレーやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れしないでください。
ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れしないでください。

けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



指定外の機器を本製品のアウトレットに接続して電源を取らないでください。
火災、故障の原因になります。



ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因になります。



電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。
突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因になります。



「PCカード」、「SDメモリーカード」、「UIMカード」の使用終了直後は、高温になっていることがあります。

これらを取り外すときは、使用後充分に温度が下がるのを待ってから取り出してください。
やけどの原因になります。



マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザー光が出ています。
目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

メンテナンス／増設



お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
けが、感電、火災の原因になります。
修理や点検などが必要な場合は、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。
誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



カバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。

作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。お子様が手を触れると、けが、故障の原因になります。



メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあげる場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。

カバーをあけた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。
やけど、感電、火災の原因になります。



清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障や火災の原因になります。



清掃するときに、塩化ベンザルコニウムを含む消毒薬を使用しないでください。また、製品を取り扱う前手指消毒は、エタノール系の消毒薬を用いるものとし、塩化ベンザルコニウム成分を含む消毒薬は使用しないでください。
手指消毒の後は、手指を十分に乾かしてください。消毒薬が手指に付着した状態では製品に触らないでください。
塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。



液晶ディスプレイの汚れを拭き取るときは、乾いた柔らかい布を使ってください。水や中性洗剤、液体クリーナーなどは使わないでください。
液晶ディスプレイ内部に液体が入り込み、故障や発煙の原因になります。



本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。
取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、お問い合わせ窓口にご相談ください。



指定以外の電池は使用しないでください。また、2本以上セットする場合は、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因になります。



電源ケーブルやACアダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。



内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも外してください。
故障、感電、火災の原因になります。



周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。

⚠ 注意



周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
けが、故障の原因になります。



本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。
けが、故障の原因になります。



電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。
メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、十分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。
やけどの原因になります。



内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。
けがの原因になります。

異常時

⚠ 警告



本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルやACアダプタを抜いてください。
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性のある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因になります。



タッチパネルのガラスにヒビ、傷などがあった場合は、すみやかにご使用を中止し、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用するとけがをすることがあります。



バッテリーパックや電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
失明など障害の原因になります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

⚠ 注意



カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

保管／廃棄

⚠ 注意



本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。
バッテリーパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。
火災の原因になります。



本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。
本製品はリチウム電池を使用しております。ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電池を使用しております。
一般のゴミといっしょに火中に投げられると電池が破裂するおそれがあります。
使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

取り扱い上のご注意

パソコンの使用環境についての注意

パソコンは精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

・パソコンをお使いになる環境の温度と湿度

次の範囲内としてください。

- ・動作時：温度 10～35℃／湿度 20～80%RH
- ・非動作時：温度 -10～60℃／湿度 20～80%RH

・パソコンの結露

動作時、非動作時にかかわらず、パソコン本体が結露しないようにご注意ください。

結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。パソコンを温度の低い場所から温度の高い場所、または、温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、パソコン内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したままパソコンを使用すると故障の原因となります。

パソコンを移動したときは、直射日光があたらない風通りの良い場所に設置し、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

・パソコンをお使いになれない場所

次の場所ではお使いにならないでください。

- ・直射日光のあたる場所
- ・水など液体のかかる場所
- ・台所などの油を使用する場所

油分がパソコン内部に入ってCPUファンなどに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。

・ほこりの多い環境

ファンにほこりが詰まり、放熱が妨げられ、故障の原因となる場合があります。

・静電気の発生しやすい場所

パソコンは、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。使用する前には、アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。

・磁気が発生するもの（モーターやスピーカーなど）に近い場所

故障や機能低下の原因となります。

・腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所

パソコン本体が腐食する可能性があります。

・次亜塩素酸ナトリウム、二酸化塩素等の塩素を含む薬剤を使用した空間除菌の間近

消毒する場所の付近や、風下（ファンなどを使用している場合）での製品のお取扱いは、十分ご注意ください。

・通風孔

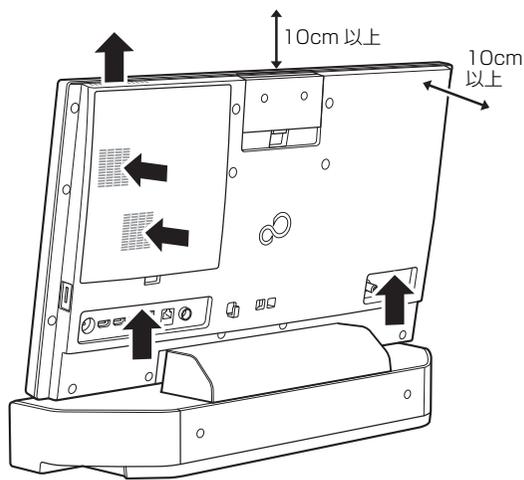
通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、CPUファンなどの機能を低下させる可能性があります。掃除機などで定期的にはこりなどを取り除いてください。詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」－「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方はP.59をご覧ください）。

通風孔をふさがないでください。また、通風孔をふさぐ原因となるもの（布・マット・じゅうたん・ビニール・アルミ箔など）の上に置かないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。堅い机の上などに置いてください。

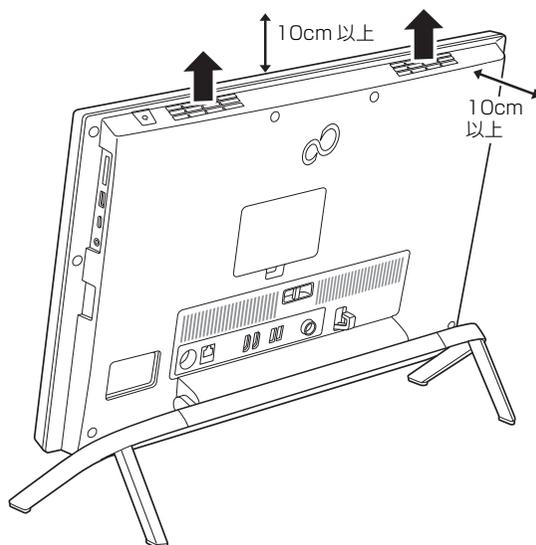
通風孔の近くに物を置いたり、通風孔の周辺には手を触れないでください。通風孔からの熱で、通風孔の近くに置かれた物や手が熱くなることがあります。

パソコン本体上部やディスプレイ背面部と壁などとの間は、10cm以上のすき間を空けてください。通風孔の空気の流れは、次の図の➡をご覧ください。

● 27型ワイド



● 23.8型ワイド



（イラストは機種や状況により異なります）

・パソコン使用中の環境

- ・操作するのに十分なスペースを取れる場所でお使いください。
- ・コンセントから直接電源をとれる場所でお使いください。
- ・パソコン本体のそばで喫煙しないでください。タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、ファンなどの機能を低下させる可能性があります。
- ・パソコン本体の近くで携帯電話、PHS、トランシーバーなどを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてください。
- ・パソコン本体やACアダプタは、平らで堅い机の上などに置くようにしてください。ふとんの上など熱がこもりやすい場所に置くと、パソコン表面が高温になることがあります。
- ・パソコンやACアダプタは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがありますので、ご注意ください。
- ・ACアダプタは、パソコン使用中に表面が熱くなることがあります。使用中は触れないでください。
- ・有線LANをお使いになるときは、接続ケーブルが届く場所でお使いください。

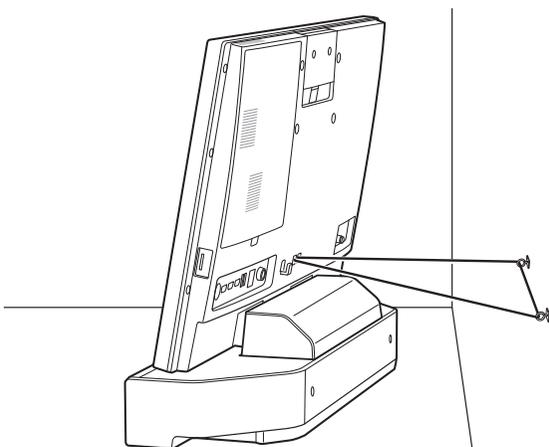
・無線通信機能をお使いになる場所

パソコン本体に搭載されている無線通信機能をお使いになるときは、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。

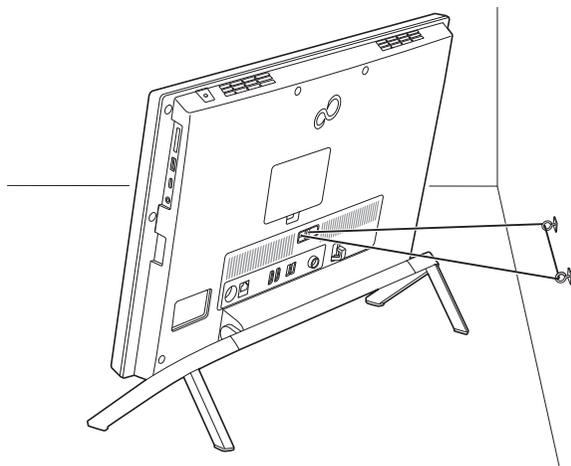
パソコン本体の転倒防止について

地震の場合やパソコンに寄りかかったりした場合に、パソコンが転倒することがあります。パソコンの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒防止用フックを利用し、パソコン本体を固定してください。

● 27 型ワイド



● 23.8 型ワイド



丈夫なひもで、しっかりした壁や柱にパソコンを固定してください。壁や柱への固定に金具をご使用になる場合は、ひもが外れない形状のものをお使いください。



重要

- ▶ 地震などでのパソコンの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- ▶ 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や柱の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

パソコンの取り扱いについての注意

■パソコン本体の取り扱い注意

- ・衝撃や振動を与えないでください。
- ・操作に必要な部分を押したり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- ・磁石や磁気プレスレットなど、磁気の発生するものをパソコン本体や画面に近づけないでください。画面が表示されなくなるなどの故障の原因となったり、保存しているデータが消えたりするおそれがあります。
- ・水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。故障の原因になる可能性があります。
- ・パソコン本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。
- ・パソコン本体に寄りかかったり、装置を支えにして立ち上がったたりしないでください。
- ・パソコン本体に接続したケーブル類を引っ張った状態で使用しないでください。

- ・SSDは、頻繁に書き込み／書き換えを行うと寿命が短くなります。ドライブの最適化（デフラグ）は行わないようにしてください。また、重要なデータはバックアップをとることをお勧めします。

■パソコンの温度上昇に関して

パソコンの使用中に、パソコン本体が熱をもつために温かく感じられることがあります。故障ではありません。

■パソコン内部からの音に関して

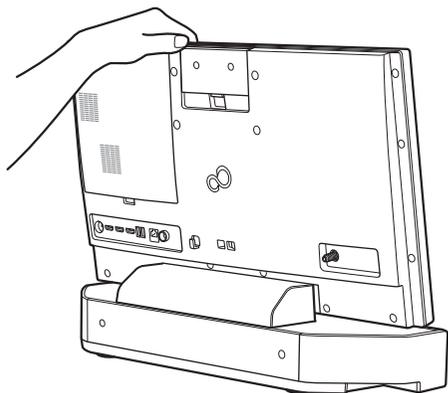
パソコン本体内部からは、次の音が聞こえることがありますが、これらは故障ではありません。

- ・内部の熱を外に逃がすためのファンの音
- ・ハードディスクにアクセスする音（ハードディスク搭載機種のみ）
- ・光学ドライブのディスク読み取りヘッドが移動する音
- ・DVDなどのディスクが回転する音
- ・内部の電子回路の動作音

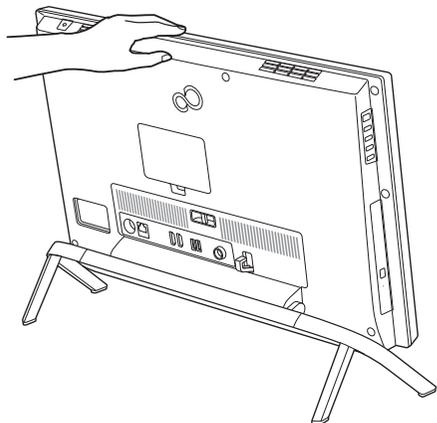
■ケーブル類の接続／取り外しに関する注意

パソコン本体背面にACアダプタなどのケーブル類を接続したり、取り外したりするときは、パソコン本体を手で軽く支えてください。

●27型ワイド



●23.8型ワイド

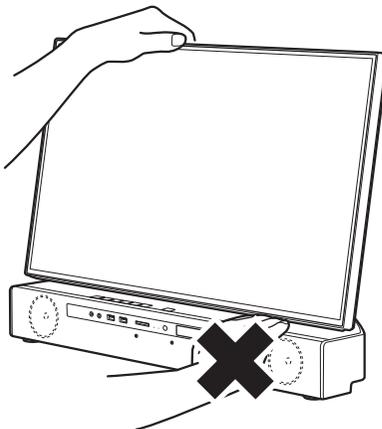


(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

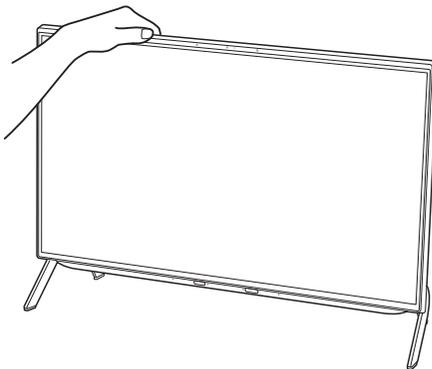
■画面の角度調整について

パソコンの画面の角度を調整するときは、図のようにディスプレイ上部に手を添え、画面をゆっくり動かしてください。勢いよく傾けると、転倒や落下の危険があります。また、27型ワイドの場合は、ディスプレイの下に指を挟まないようにご注意ください。

●27型ワイド



●23.8型ワイド



■パソコンを移動する場合の注意

□移動する前の準備

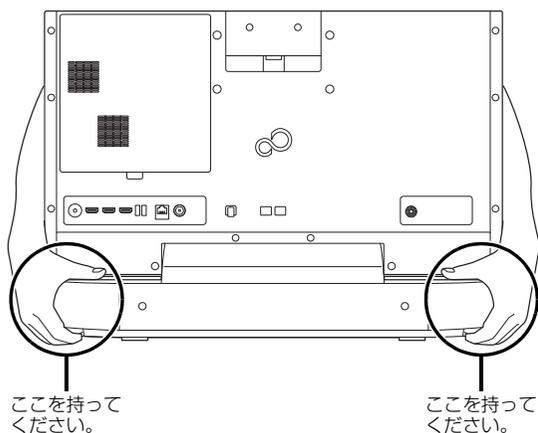
- ・必ずパソコンの電源を切ってください。電源が入ったままや、省電力状態のまま持ち運ばないでください。また、電源を切ってから動かす場合も、約5秒ほど待ってから動かしてください。衝撃によりストレージが故障する原因となります。
- ・ACアダプタ／電源ケーブルや、接続しているケーブルなどをすべて取り外してください（→P.13）。
- ・パソコン本体にSDメモリーカードなどをセットしている場合は、必ずSDメモリーカードなどを取り外してください。

□移動するときの注意

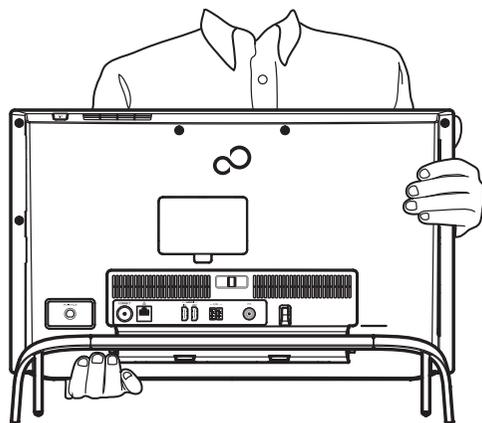
- ・液晶ディスプレイは、絶対に触れないでください。故障や破損の原因となります。
- ・スピーカー部分は、強く押さないでください。故障や破損の原因となります。

- ・液晶ディスプレイを垂直にし、表示面側を手前にして、イラストに示したように持ってください。その際、液晶ディスプレイを傷つけないようにご注意ください。

● 27 型ワイド



● 23.8 型ワイド



□ AC アダプタ／電源ケーブルの取り外し方

「セットアップする」－「電源に接続する」と逆の手順で電源ケーブルなどを取り外します。LAN ケーブルや USB ケーブルなども各コネクタから取り外します。

■ 液晶ディスプレイの取り扱い上の注意

- ・液晶ディスプレイをたたいたり強く押ししたりしないでください。また、引っかいたり先のとがったもので押ししたりしないでください。故障の原因になります。
- ・液晶ディスプレイにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- ・液晶ディスプレイに汚れが付着した場合は、OA クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布を使って軽く拭き取ってください。水や中性洗剤を使用して拭かないでください。詳しくは 『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」－「お手入れ」をご覧ください。(『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.59 をご覧ください。)

■ 雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。

また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。

安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

ただし、どのような避雷器をお使いになってもパソコン本体を保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。

□ 落雷について

落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類あります。直撃雷と誘導雷のどちらでも避雷器で保護できない可能性があります。

・ 直撃雷

避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できます。

ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもパソコン本体を保護できないことがあります。

・ 誘導雷

パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。

雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどから誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

□ 落雷時の故障について

落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。

故障の状況によっては、修理費用が高額になることもありますので、ご注意ください。また、落雷によってパソコン本体だけでなく周辺機器などが故障することもあります。

認定および準拠について

このパソコンに固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号を含む)は、次の手順で表示される画面で確認できます。

1 BIOS セットアップを起動します。

2 「情報」メニューから「認証表示」を選択します。

BIOS セットアップについて詳しくは、 『取扱説明書<活用ガイド>』の「使いこなすために」－「BIOS の設定」をご覧ください。(『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.59 をご覧ください。)

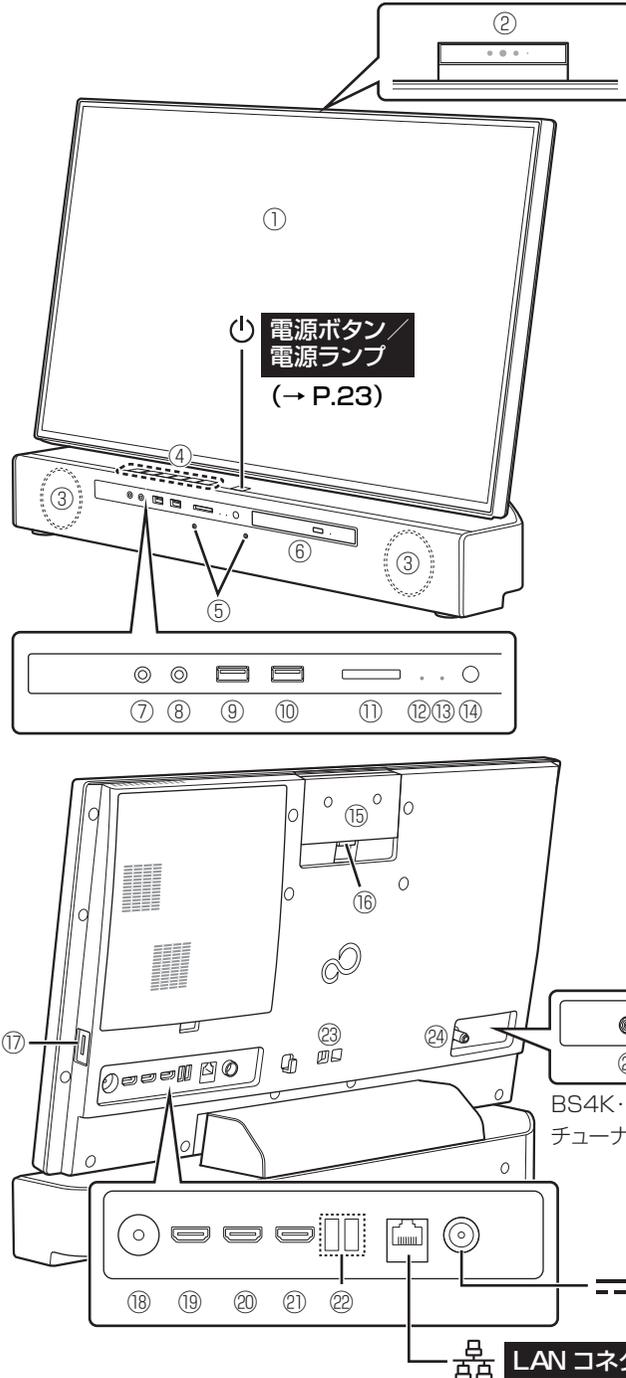
各部の名称について

このパソコンの主な各部の名称は次のとおりです（イラストは機種や状況により異なります）。

Point

- ▶ ここに掲載されていない部分の名称や、各部の働きなど詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「各部の名称と働き」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方はP.59をご覧ください）。

■27型ワイド



- ① 液晶ディスプレイ
- ② Webカメラ [注1]
- ③ スピーカー（ハイレゾ対応）
- ④ オペレーションボタン
- ⑤ デジタルマイク
- ⑥ 光学ドライブ
- ⑦ ヘッドホン・ラインアウト兼用端子
- ⑧ マイク・ラインイン兼用端子
- ⑨ USB3.2 (Gen1) Type-Aコネクタ
（電源オフUSB充電機能対応）
- ⑩ USB3.2 (Gen1) Type-Aコネクタ
- ⑪ ダイレクト・メモリスロット
- ⑫ 録画ランプ [注2]
- ⑬ ディスクアクセスランプ
- ⑭ リモコン受光部 [注2]
- ⑮ カメラユニット
- ⑯ カメラロックボタン
- ⑰ miniB-CASカードスロット [注3]
- ⑱ CONNECTボタン
- ⑲ HDMI入力端子1
- ⑳ HDMI入力端子2
- ㉑ HDMI出力端子
- ㉒ USB3.2 (Gen2) Type-Aコネクタ
- ㉓ 転倒防止用フック
- ㉔ アンテナ入力端子 [注3]
- ㉕ BS・110度CSデジタルアンテナ
入力端子 [注4]
- ㉖ 地上デジタルアンテナ入力端子 [注4]

注1 FH90/F3およびWF2/F3に搭載のWebカメラは、顔認証に対応しています。

注2 テレビチューナー搭載機種のみ機能します。

注3 「地デジ・BS・110度CSデジタルチューナー」搭載機種のみ搭載されています。

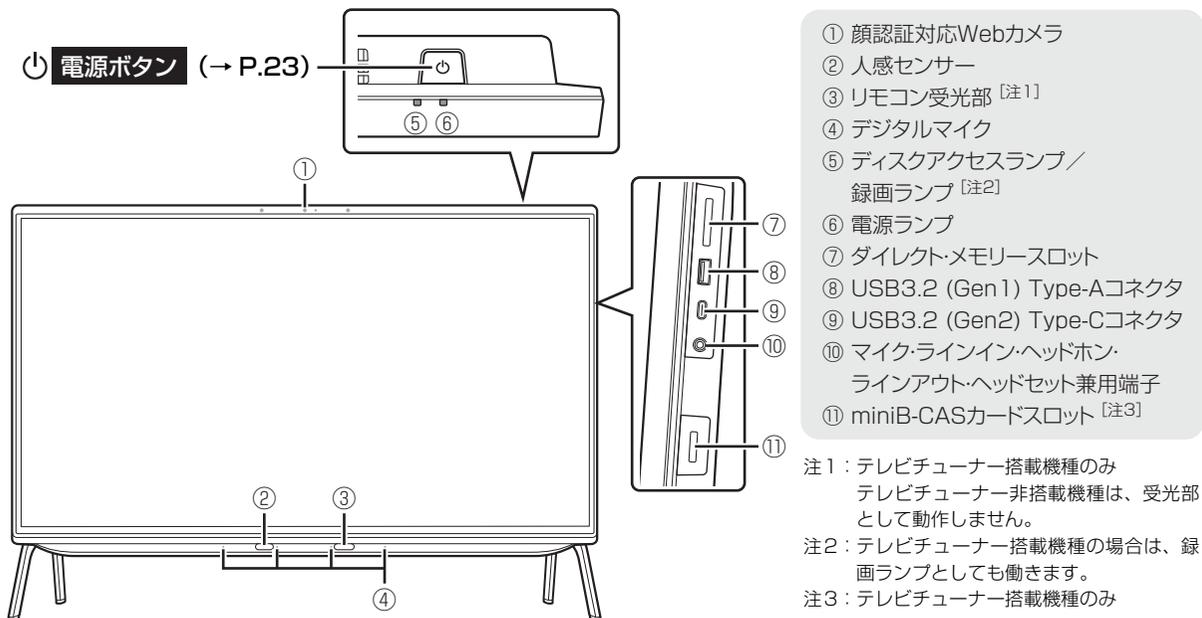
注4 WF-X/G1でご購入時にテレビチューナーを選択した場合のみ搭載されています。

BS4K・110度CS4K
チューナー搭載機種

DC-IN コネクタ (→P.18)

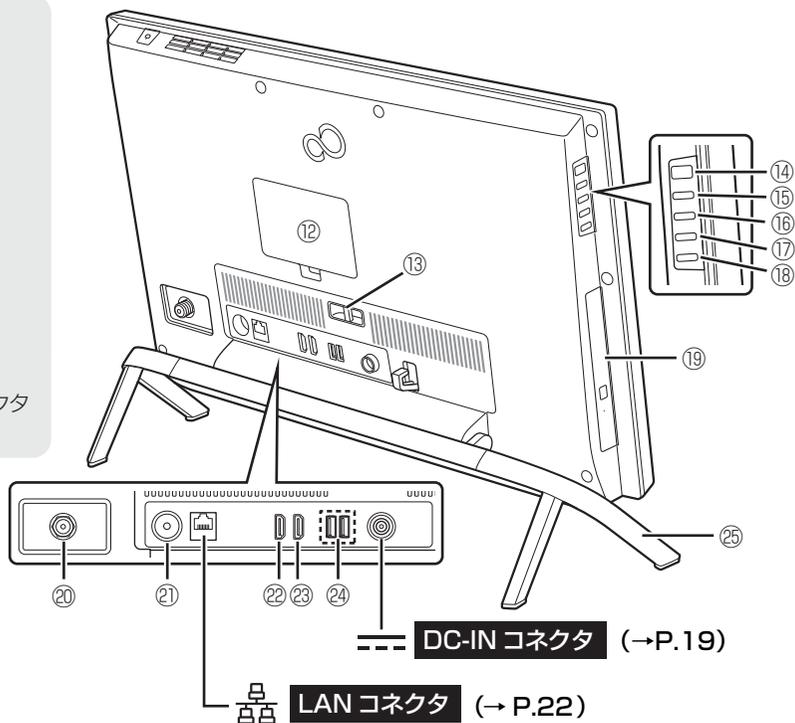
LAN コネクタ (→P.22)

■23.8型ワイド



- ⑫ メモリカバー
- ⑬ 転倒防止フック
- ⑭ 外部入力ボタン [注4]
- ⑮ 明るさUPボタン [注5]
- ⑯ 明るさDOWNボタン [注5]
- ⑰ 音量UPボタン [注5]
- ⑱ 音量DOWNボタン [注5]
- ⑲ 光学ドライブ
- ⑳ アンテナ入力端子 [注3]
- ㉑ CONNECTボタン
- ㉒ HDMI入力端子
- ㉓ HDMI出力端子
- ㉔ USB3.2 (Gen1) Type-Aコネクタ
- ㉕ スタンド [注6]

注3：テレビチューナー搭載機種のみ
注4：リモコンからの入力切り替え操作はできません。
注5：HDMI入力時のみ有効です。
注6：FH60/F3はスタンドの形状が異なります。



セットアップする

セットアップの流れを確認する

インターネット接続の準備をする (→ P.17)

パソコンの準備をする (→ P.18)

- 周辺機器を接続しないでください
プリンター、USBメモリ、メモリーカードなどは、「Windowsのセットアップをする」が終わるまで接続しないでください。



電源を入れる

Windows のセットアップをする (→ P.23)

ここで Microsoft アカウントを新規取得、またはお持ちの Microsoft アカウントでサインインします。

Microsoft アカウントは Windows を利用するために必須です。

- この間は絶対に電源を切らないでください
途中で電源を切ると、故障の原因になる場合があります。

デバイス暗号化の回復キーを保管する (→ P.38)

「アップデートナビ」の初期設定をする (→ P.42)

「はじめに行う設定」で初期設定する (→ P.43)

「はじめに行う設定」というアプリのガイドに従ってユーザー登録やセキュリティ対策などを行うと、パソコンを快適にお使いいただけます。

「詐欺ウォール」の初期設定をする (→ P.47)

さあ、セットアップを始めましょう!

Point

- ▶ セットアップ中にしばらく操作をしないと省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがあります。電源が切れたわけではありません。マウス、キーボードを操作すると元の画面に戻ります。画面が戻らなかった場合は、電源ボタン (⏻) をポチッと押してください。

インターネット接続の準備をする

セットアップを進めるには、インターネットへの接続が必要です。事前にインターネットに接続する環境を整えてください。

有線 LAN をお使いになる場合は、Windows のセットアップをする前に LAN ケーブルを接続します (→ P.22)。

インターネット接続方法はご契約のプロバイダーにお問い合わせください

インターネットに接続するための設定方法や情報は、ご契約のプロバイダーから提供されます。プロバイダーの指示に従って、インターネット接続設定をしてください。

Point

- ▶ データ通信カードやアダプター、モバイル Wi-Fi ルーターなどのデータ通信機器をお使いになりインターネットに接続する場合、設定および使用方法については、データ通信機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ▶ IP アドレスを自動取得 (DHCP 設定) できない接続 (広帯域 (PPPoE)、無線 WAN) では、セットアップできません。
- ▶ データ通信機器や接続に関しては、ご契約のサービス提供元にお問い合わせください。

無線 LAN でインターネット接続の準備をする

無線 LAN でインターネットに接続する場合は、別売の無線 LAN アクセスポイントを用意し、ネットワーク名 (SSID) とパスワード (暗号化キー) を設定し次の欄に記入してください。

無線LANアクセスポイントの設定

ネットワーク名 (SSID):

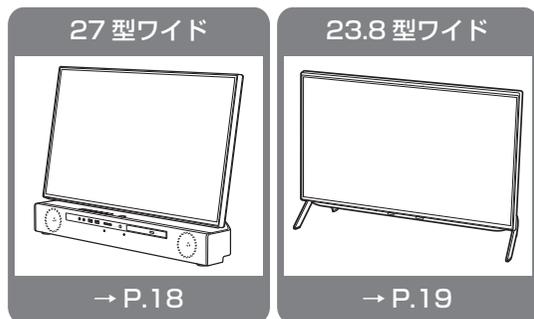
パスワード (暗号化キー):

重要

- ▶ 無線 LAN が使えない場合は、有線 LAN (→ P.22) をお使いください。
- ▶ 無線 LAN アクセスポイントは、パスワードを設定するなどセキュリティの設定をしてお使いになることをお勧めします。セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。
設定方法について詳しくは、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。設定方法についてわからないときは、無線 LAN アクセスポイントの製造会社にお問い合わせください。
- ▶ 5GHz帯チャンネルに対応した無線LAN搭載モデルでは、パソコンを屋外で使う場合、電波法の定めにより 5GHz 帯の電波を停止する必要があります (法令で許可された場合を除く)。

パソコンの準備をする

お使いの機種に合わせてご覧ください。



重要

- ▶ ACアダプタ、電源ケーブルなどのケーブルを束ねているバンド（針金）は、必ず取り外してからお使いください。



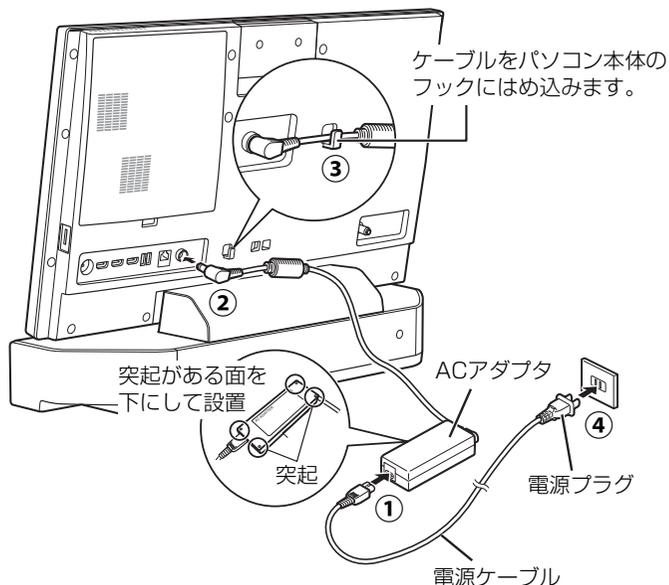
27型ワイド

■電源に接続する

接続したケーブル類が奥までしっかりと差し込まれているか、電源を接続した後、最後にもう一度お確かめください。奥まで差し込まれていないと、電源が入らないなどトラブルの原因になります。

1 ACアダプタをパソコン本体に接続します。

- ① 電源ケーブルをACアダプタに取り付けます。
ACアダプタは、ゆるんだり抜けたりしないようにしっかりと接続してください。
また、ACアダプタの四隅に突起がある方を下にして設置してください。
- ② ACアダプタをDC-INコネクタに取り付けます。
- ③ ケーブルを固定します。
- ④ 電源プラグをコンセントに接続します。



(イラストは機種や状況により異なります)

➡ この後は、「キーボード／マウスを準備する」(→ P.20)に進んでください。

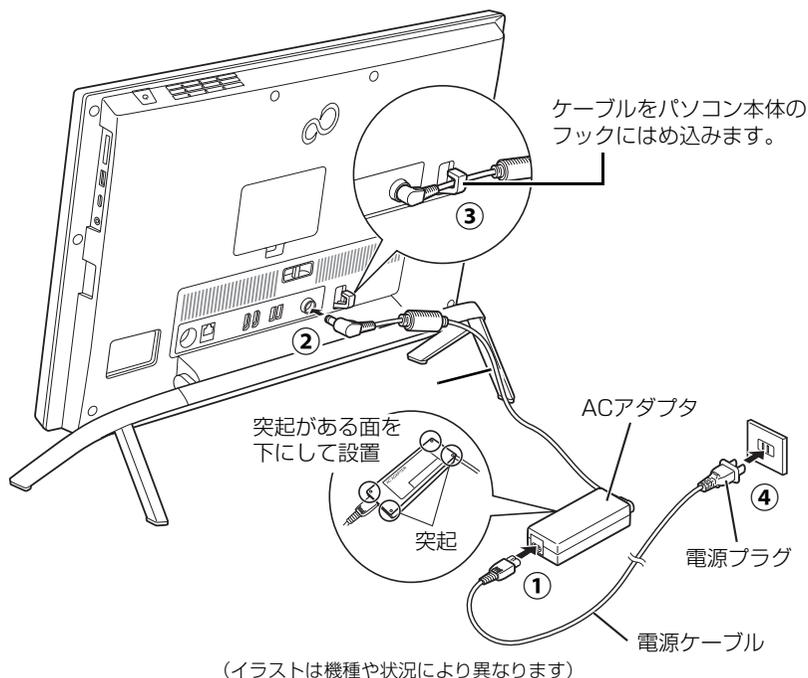
23.8型ワイド

■電源に接続する

接続したケーブル類が奥までしっかりと差し込まれているか、電源を接続した後、最後にもう一度お確かめください。奥まで差し込まれていないと、電源が入らないなどトラブルの原因になります。

1 ACアダプタをパソコン本体に接続します。

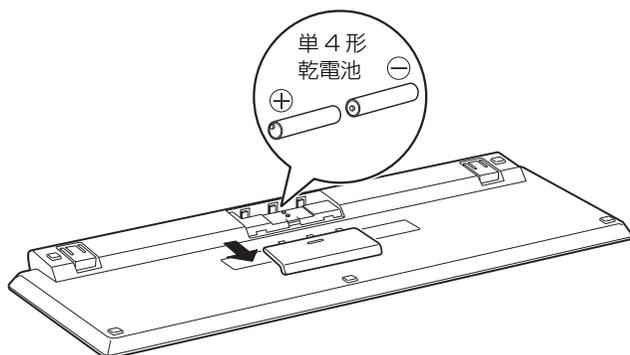
- ① 電源ケーブルをACアダプタに取り付けます。
ACアダプタは、ゆるんだり抜けたりしないようにしっかりと接続してください。
また、ACアダプタの四隅に突起がある方を下にして設置してください。
- ② ACアダプタをDC-INコネクタに取り付けます。
- ③ ケーブルを固定します。
- ④ 電源プラグをコンセントに接続します。



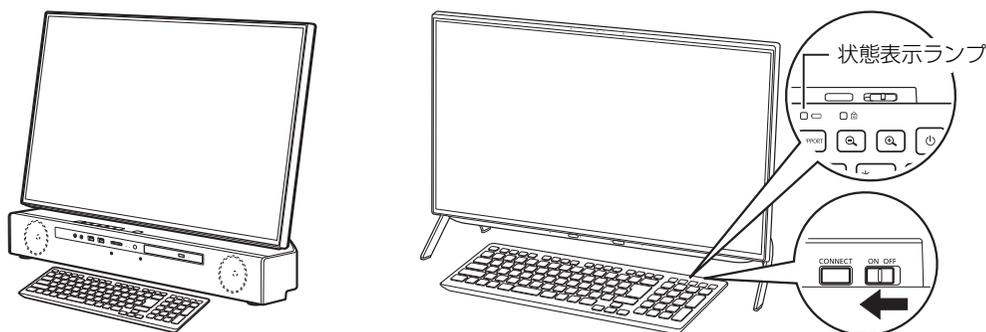
➡ この後は、「キーボード／マウスを準備する」(→ P.20)に進んでください。

1 ワイヤレスキーボードの電源を入れます。

- ① 裏返して電池ボックスのふたを矢印の方向にスライドして開け、添付の乾電池を入れます。電池ボックスのふたを矢印と逆の方向にスライドして閉めます。電池ボックスのふたを無理に押し込もうとすると破損の恐れがありますのでご注意ください。

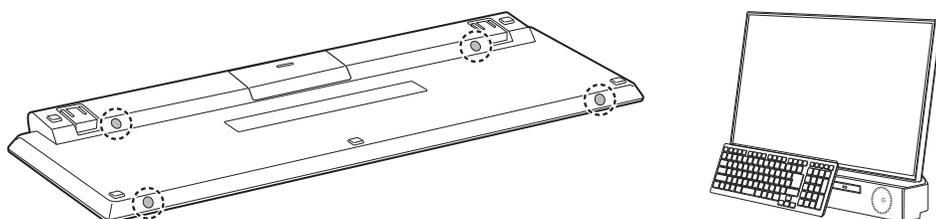


- ② ワイヤレスキーボードをパソコンの前（中央）に置きます。
- ③ 電源スイッチをON側にして、電源を入れます。状態表示ランプが点灯し、すぐに消灯します。



Point

- ▶ 状態表示ランプが点滅し続けている場合は、パソコン本体にACアダプタが接続されているか確認し、手順1からやり直してください。
- ▶ キーボードを使用しないときは、電池の消耗を抑えるために、キーボードの電源スイッチをOFF側にして電源を切っておくことをお勧めします。
- ▶ 27型ワイドの場合、必要に応じて、添付のキーボード用ストッパーゴム（丸いゴム）を、図の4箇所には貼ってください。キーボードを使わないときに、パソコンに立てかけやすくなります。



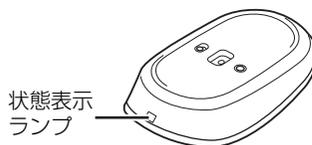
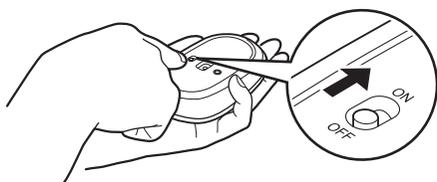
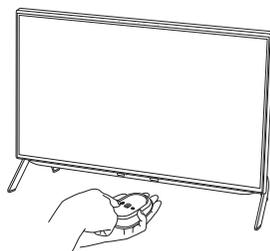
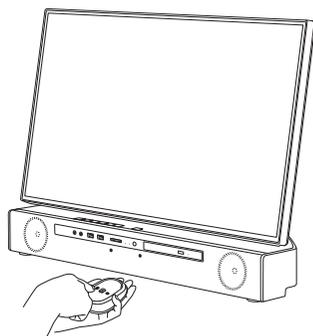
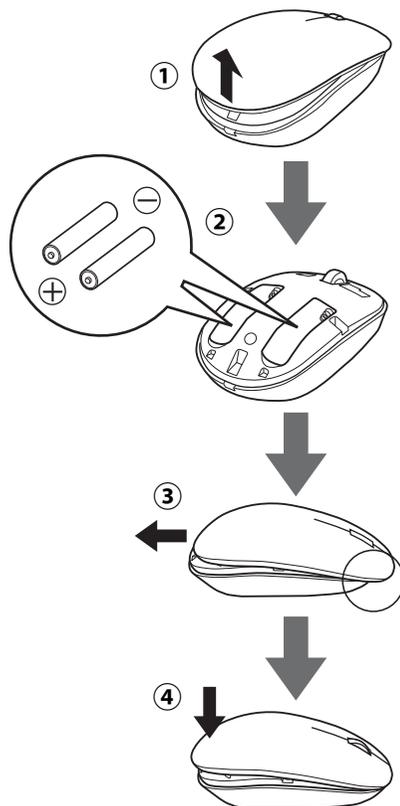
2 ワイヤレスマウスの電源を入れます。

- ① マウス上面部分を後方から持ち上げ、フタを外します。
- ② 添付の単4形乾電池を入れます。
- ③ フタが前方に少しはみ出すように載せ、フタを後方にスライドさせます。
フタの前方が浮く場合は、もう一度やり直してください。

Point

▶ フタの前方が浮いたまま、無理に取り付けると破損することがあります。ご注意ください。

- ④ ツメがひっかかったらフタの後方を上から軽く押し、フタをはめ込みます。
- ⑤ ワイヤレスマウスをパソコンの前（中央）で裏面を上にして持ちます。
- ⑥ 電源スイッチをON側にして、電源を入れます。
状態表示ランプが点灯し、すぐに消灯します。



Point

▶ マウスを使用しないときは、電池の消耗を抑えるために、マウスの電源スイッチをOFF側にして電源を切っておくことをお勧めします。

LAN ケーブルを接続する

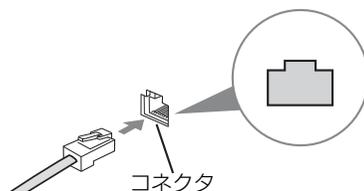
この先のセットアップを進めるためには、インターネットへの接続が必要です。

有線 LAN（LAN ケーブルを利用したインターネット接続）をお使いになる場合は、事前に用意したネットワーク機器（ルーターなど）に LAN ケーブルを接続し、反対側をパソコンの LAN コネクタに接続します。

無線 LAN を利用する場合は、LAN ケーブルの接続は不要です。

Point

- ▶ コネクタ類の位置は「各部の名称について」(→P.14) で確認してください。
- ▶ LAN ケーブルを接続するときは、コネクタの向きを確認してしっかり差し込んでください。
- ▶ ご契約のプロバイダーにより、LAN ケーブルを接続しただけではインターネットを利用できない場合があります。プロバイダーから提供された設定方法に従い、必要に応じてインターネット接続設定をしてください。

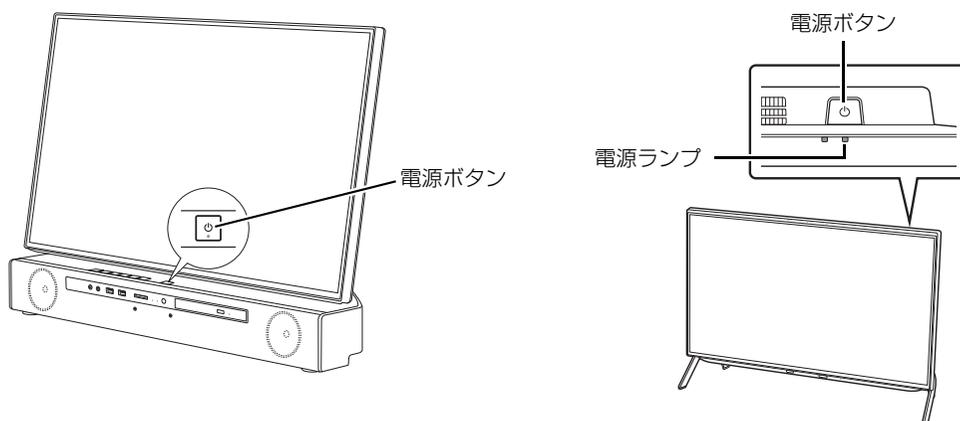


➡ この後は、「Windows のセットアップをする」(→ P.23) に進んでください。

Windows のセットアップをする

Windows のバージョンにより、セットアップ手順（画面）が変更される場合があります。本書と違う画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。

1 パソコン本体の電源ボタンを押します。



Point

- ▶ セットアップ中に、「問題が発生しました やり直すことができます。」と表示されたら、「やり直す」をクリックしてください。次の手順に進むことができます。

2 「パソコンのセットアップを行う前に」と表示されたら、画面の説明をご覧くださいになり、キーボードの **[C]** を押します。

3 画面に表示された注意事項をよくご覧くださいになり、キーボードの **[Y]** を押します。

セットアップを中止する場合は、キーボードの **[N]** を押すと電源が切れます。再度セットアップを開始するときは、手順 1 から操作してください。

重要

- ▶ Windows のセットアップが終わるまで絶対に電源を切らないでください。

4 「国または地域はこれよろしいですか?」という画面が表示されたら、「はい」をクリックします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

Point

- ▶ 画面右下の①  をクリックし、② スライダーを左右に動かして音量を調節します。
③  をクリックして  にするとミュート (音を消す) にできます。



5 「これは正しいキーボードレイアウトまたは入力形式ですか?」という画面が表示されたら、「Microsoft IME」と表示されていることを確認し、「はい」をクリックします。

6 「2つ目のキーボードレイアウトを追加しますか?」と表示されたら、「スキップ」をクリックします。

他の言語を入力できるようにしたい場合は「レイアウトの追加」をクリックし、画面の指示に従って操作してください。

7 無線 LAN をお使いになる場合、「ネットワークに接続しましょう」という画面が表示されたら、ネットワークに接続します。

LAN ケーブルを接続している場合は、この画面は表示されません。

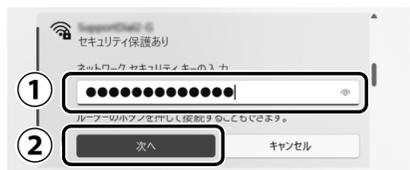
➡ 手順 10 に進みます。



「無線 LAN でインターネット接続の準備をする」(→ P.17) で確認したネットワーク名 (SSID) をクリックし、①「自動的に接続する」の をクリックして にし、②「接続」をクリックします。

8 「無線 LAN でインターネット接続の準備をする」(→ P.17) で確認した ①「パスワード」を入力し、②「次へ」をクリックします。

「ルーターのボタンを押して接続することもできます。」と表示されていたら、無線 LAN アクセスポイント (ルーター) のボタンを押して接続できる場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



9 正しく設定できたか確認し、「次へ」をクリックします。

正しく設定できると、「接続済み」と表示されます。



Point

- ▶ 「接続済み」と表示されなかった場合は、「無線 LAN でインターネット接続の準備をする」(→ P.17) で確認した無線 LAN アクセスポイントの設定情報と、手順 8 で入力したパスワードを確認してください。

10 次の画面が表示された場合は、しばらく待ちます。

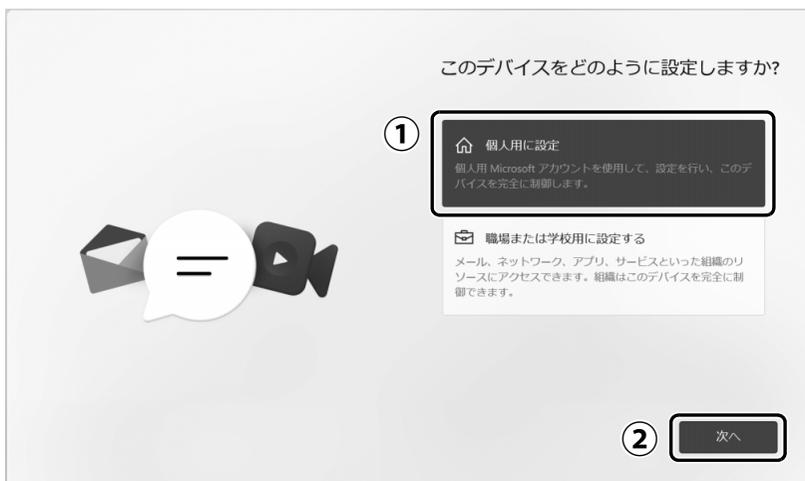
インターネットに接続できた後、自動でアップデートを確認します。状況によっては時間がかかる場合があります。操作が必要な場合は、画面の指示に従って操作してください。この後も、この画面が表示された場合は同様に操作してください。



11 「ライセンス契約をご確認ください。」という画面が表示されたら、よく読んでから「同意」をクリックします。

Point

- ▶ Windows 11 Pro をお使いの場合に次の画面が表示されたら、①「個人用に設定」をクリックし、②「次へ」をクリックします。



12 「デバイスに名前を付けましょう」という画面が表示されたら、① 名前を入力し、② 「次へ」をクリックします。



Point

- ▶ 半角英数字で名前を付けてください。詳しくは画面の指示に従ってください。

13 「Microsoft アカウントを追加しましょう」という画面が表示されたら、次のように操作します。

新規に Microsoft アカウントを作成する場合と、すでに Microsoft アカウントをお持ちの場合で、手順が異なります。

■新規に Microsoft アカウントを作成する場合



① 「作成」をクリック

➡ 手順 14 に進んでください。

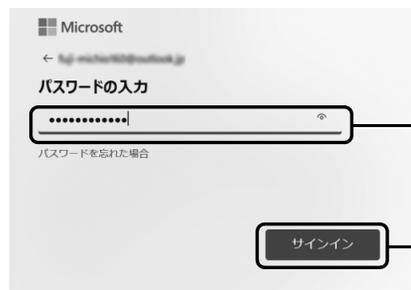
■すでにお持ちの Microsoft アカウントでサインインする場合



① Microsoft アカウントを入力

② 「次へ」をクリック

「パスワードの入力」が表示されたら次のように操作します。



③ パスワードを入力

④ 「サインイン」をクリック



▶ 「お客様のアカウント保護にご協力ください」という画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

➡ 手順 21 に進んでください。

14 「アカウントの作成」が表示されたら「新しいメールアドレスを取得」をクリックします。



Point

- ▶ Microsoft アカウントを新規作成するとき
すでにお使いのメールアドレスを使うのではなく、Microsoft アカウント専用のメールアドレスを取得し、Microsoft アカウントとしてお使いになることをお勧めします。プロバイダが提供しているメールアドレスを使うと、プロバイダの変更などでメールアドレスが使えなくなったときに問題が発生する場合があります。

15 ① Microsoft アカウントとして使いたい文字列を入力し、② 「次へ」をクリックします。



Point

- ▶ Microsoft アカウント（メールアドレス）として使いたい文字列を入力します。半角英数字（a～z、A～Z、0～9）およびピリオド（.）、ハイフン（-）、下線（_）が使用できます。
- ▶ メールアドレス入力後、「既に使用されています。」と表示された場合は、別のメールアドレスを入力してください。

16 「パスワードの作成」が表示されたら、① 他人に知られないようなパスワードを入力し、② 「次へ」をクリックします。



【パスワードの作成例】

半角英字
↓
ab1-G23d4
半角数字
半角記号
8文字以上

安全性を高めるため、8文字以上で、半角英字の大文字と小文字（A～Z、a～z）、半角数字（0～9）、および半角記号を組み合わせて作成してください。

※ 例とまったく同じ文字をパスワードとして使わないでください。

17 次の欄に手順15で作ったMicrosoftアカウントを記入します。

Microsoftアカウント @

※パスワードも、絶対に忘れないようにしてください。

※ 記入した情報は、第三者に漏れないように十分に注意して管理してください。

※ 参照しやすいように巻末にも記入欄を用意しました。ご利用ください。

Point

- ▶ Microsoft アカウントはパソコンをお使いになるうえで大変重要です。絶対に忘れないようにしてください。
Windows のサインインのときや、「Office」をインストールするときにも必要です。

18 「お名前を入力」が表示されたら、①「姓」と「名」を入力し、②「次へ」をクリックします。



19 ① 年を入力し、月と日の をクリックして生年月日を選択し、②「次へ」をクリックします。 ①が表示されていない場合は **[Tab]** を押してください。



※ 月日を選択するとき、スクロールがうまくできない場合は、**[↑]** **[↓]** を押して選択してください。

20 パスワードを忘れた場合のセキュリティ情報を入力します。

ここで入力した情報で、パスワードを再設定することができます。

「電話番号」と「連絡用メールアドレス」のどちらか1つを必ず入力してください。



■メールアドレスを追加する場合

- ① 以前から使用しているメールアドレスを入力します（携帯電話およびスマートフォンのメールアドレスを除く）。

本人確認をするときに必要になります。すぐに対応できるメールアドレスを入力してください。

- ② 「次へ」をクリックします。

■電話番号を追加する場合

▼ をクリックし、「電話番号の追加」をクリックします。



- ① 携帯電話（スマートフォンを含む）の電話番号を入力します。

本人確認をするときに必要になります。すぐに対応できる電話番号を入力してください。

- ② 「次へ」をクリックします。

- 21** 顔認証対応 Web カメラ搭載機種で、顔の登録を求められた場合は、「はい、セットアップします」をクリックし、画面の指示に従って顔を登録します。



Point

- ▶ FH シリーズ (23.8 型ワイド) では顔を登録しておく、パソコンの前に座るだけでパソコンが自動で起動するよう設定できます。詳しくは「瞬感起動を設定する」(→ P.55) をご覧ください。
- ▶ ここで顔を登録せずに先に進みたいときは、「今はスキップ」をクリックしてください。セットアップ後に、▶  (設定)▶「アカウント」▶「サインインオプション」の順にクリックし、右側に表示された「Windows Hello」から設定してください。
- ▶ Windows Hello について、詳しくは 『取扱説明書<活用ガイド>』(→ P.59) の「使いこなすために」をご覧ください。

- 22** PINを作成する画面が表示されたら、「PINの作成」をクリックします。PIN は、このパソコンでのみ Microsoft アカウントのパスワードの代わりに使えます。
※ 代わりに使えない場合もあります。

- 23** ① 4桁以上の数字を上段に入力し、下段にも同じ数字を入力し、
② 「OK」をクリックします。



設定した PIN は絶対に忘れないようにしてください。

※ 参照しやすいように巻末にも記入欄を用意しました。ご利用ください。

Point

- ▶ 「英字と記号を含める」が表示されている場合は、 をクリックして にすると、英字なども入力できるようになります。
- ▶ PIN はセットアップ後に変更することもできます。[スタート] ▶ [設定] ▶ 「アカウント」▶ 「サインインオプション」の順にクリックし、右側に表示された「PIN」から設定してください。

- 24** すでにお使いの Microsoft アカウントでサインインした場合、
① どちらかをクリックして選択し、② 「次へ」をクリックします。

重要

- ▶ 「Office Personal 2021」または「Office Home & Business 2021」を搭載している場合は、「新しいデバイスとして設定する」をクリックしてください。



すでにお使いの Microsoft アカウントで使用していたデバイスから「Microsoft Store」でインストールしたアプリなどの情報を引き継ぎたい場合は「(デバイス名)から復元」を選択してください。

- 25** 「デバイスのプライバシー設定の選択」と表示されたら、「次へ」を何回かクリックし、隠れている内容を確認し、「同意」をクリックします。最後まで確認すると「次へ」が「同意」に変わります。各項目の設定を変更できますが、特に設定を変更する必要はありません。

- 26** 「エクスペリエンスをカスタマイズしましょう」という画面が表示されたら、「スキップ」をクリックします。



- 27** OneDrive に関する画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

Point

- ▶ OneDrive はオンラインでマイクロソフト社のストレージにデータを保存できるサービスです。設定はセットアップ後に変更できます。
- ▶ 手順 26 で にした項目によって、追加で設定する画面が表示されることがあります。画面の指示に従って操作してください。

- 28** 「Office がデバイスに付属しています」と表示された場合は、「OK」をクリックします。

29 「富士通パソコンのご利用登録」が表示されたら、説明をよく読んで、ご利用登録をします。

富士通パソコンのご利用登録（無料）

富士通パソコンのユーザー登録（My Cloud アカウントの登録）、およびセキュリティソフトのご利用登録を行います。

名前
通次 × 富士

フリガナ
tsg-machida177@fujitsu.jp

国または地域
日本

ここで入力するメールアドレスについて

② 次へ

- ① メールアドレスが入力されていることを確認します。
 - ※ My Cloud アカウントをお持ちの場合、My Cloud アカウントとして登録済みのメールアドレスを入力してください。このパソコンを簡単に追加登録できます。
 - ※ メールアドレスは、富士通パソコンのユーザー登録をするときに使用するため、「はじめに行う設定」で初期設定する」の手順 6（→ P.45）の記入欄に書きとめておくことをお勧めします。
- ② 「次へ」をクリックします。

30 「次へ」をクリックします。

富士通パソコンのご利用登録（無料）

富士通パソコンのユーザー登録（My Cloud アカウントの登録）、およびセキュリティソフトのご利用登録を行います。

下記項目のご利用登録を行い、前ページで入力した情報を当社が利用することに同意します。

My Cloud アカウント利用規約に同意し、前ページで入力したメールアドレスを富士通パソコンのユーザー（My Cloud アカウント）として登録します。ご利用登録すると、製品に関する重要なお知らせなどを受け取ることができます。

「McAfee LiveSafe使用許諾契約およびプライバシーに関する声明」に同意し、セキュリティソフト「マカフィーリブセーフ3年版」を利用します。（前ページで入力したメールアドレスをマカフィー株式会社に登録します。）

「詐欺ウォール使用許諾契約書」に同意し、ネット詐欺対策ソフト「詐欺ウォール80日無料版」を利用します。

My Cloud アカウント利用規約

McAfee LiveSafe使用許諾契約およびプライバシーに関する声明（マカフィー株式会社）、詐欺ウォール使用許諾契約書（BBソフトサービス株式会社)

次へ

Point

- ▶ 富士通のパソコンは、3年間無料で使えるセキュリティソフト「マカフィー リブセーフ」を搭載しています。「McAfee LiveSafe 使用許諾契約およびプライバシーに関する声明」に同意すると、このパソコンの保護が開始されます。メールアドレスを登録すると、このパソコンだけでなく、家族みんなのパソコン、スマートフォンやタブレットを、3年間追加料金不要で「マカフィー リブセーフ」で守ることができます。詳しくは、「家族のパソコンやスマホを守る」（→ P.62）をご覧ください。

31 デスクトップが表示されるまで待ちます。
画面が何回か変化します。



デスクトップ画面が表示されます。



これで Windows のセットアップは完了です。

32   (電源) ▶ 「再起動」の順にクリックします。

ここでいったん再起動してください。
再起動後にロック画面が表示されます。



- ▶ 顔認証対応 Web カメラ搭載機種で顔認証の設定をしている場合は、ロック画面が表示されているときにカメラに顔を向けることで認証され、サインインできます。

33  を押し、手順 23 で設定した PIN を入力します。

デバイス暗号化の回復キーを保管する

一部のパソコンでは、Windows 11 に搭載されている「デバイスの暗号化」の機能が自動的に有効になり、内蔵ストレージが暗号化される場合があります。

暗号化が有効になった状態でパソコンにトラブルが発生すると、次のような場合に回復キーを求められることがあります。

- 「この PC を初期状態に戻す（リカバリ）」でストレージを初期状態に戻すとき
- 修理から戻ってきたパソコンの電源を入れたとき

回復キーを求められたときは、事前に保管しておいた回復キーを入力することで、作業を継続できます。できるだけ早く回復キーを保管しておくことをお勧めします。

デバイス暗号化が有効になっているか確認する

- 1   (設定) ▶ 「プライバシーとセキュリティ」の順にクリックします。

- 2 「デバイスの暗号化」の項目が表示されているか確認します。



デバイスの暗号化に対応した機種に表示される

■「デバイスの暗号化」の項目が表示されている場合は、お使いのパソコンは「デバイスの暗号化」が有効です。

- ➡ 「デバイス暗号化の回復キーを保管する」(→ P.39) に進んでください。

■表示されていない場合は、お使いのパソコンは「デバイスの暗号化」は非対応です。この後の「デバイス暗号化の回復キーを保管する」の手順を行う必要はありません。

- ➡ 「[アップデートナビ]の初期設定をする」(→ P.42) に進んでください。

Q&A ナンバー
2211-2868

デバイス暗号化の回復キーを保管する

回復キーは、プリンタで印刷したり、USB メモリなどの外部ストレージに保管したりすることができます。また、他のパソコンやタブレットを利用し、マイクロソフト社のホームページから確認することもできます。

ここでは、一度パソコンの中に PDF ファイルで保管し、回復キーを表示してメモする方法を説明します。

その他の方法については、FMV サポートページから Q&A ナンバー「2211-2868」を検索してご覧ください (→ P.66)。

1  ▶ スタートメニュー右上の「すべてのアプリ」▶「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。

2 「システムとセキュリティ」▶「デバイスの暗号化」(Windows 11 Pro では「BitLocker ドライブ暗号化」) の順にクリックします。



Windows 11 Pro をお使いの場合は、「BitLocker ドライブ暗号化」になります。

3 「回復キーのバックアップ」をクリックします。



Point

- ▶ 内蔵ストレージが 2 台以上搭載されている場合は、複数のドライブが表示されます。C ドライブ以外のドライブについても手順3～7を繰り返して回復キーを取得してください。

4 「回復キーのバックアップ方法を指定してください。」と表示されたら、「回復キーを印刷する」をクリックします。

5 ① 「Microsoft Print to PDF」を選択し、② 「印刷」をクリックします。



6 ① 「ドキュメント」をクリックし、② ファイル名の欄に「回復キー」と入力し、③ 「保存」をクリックします。



Point

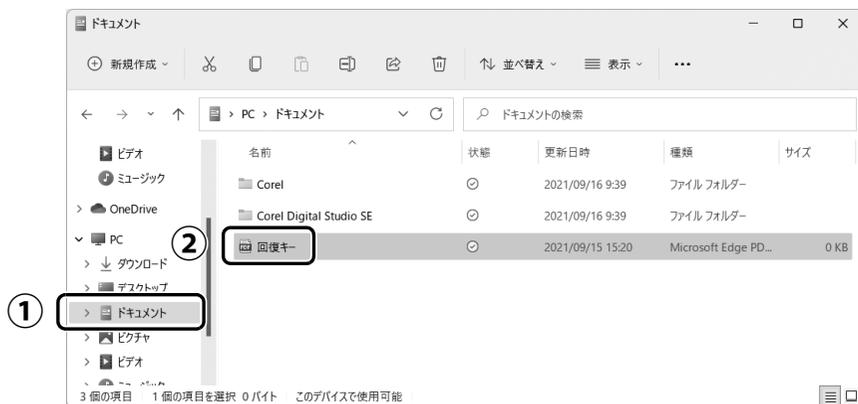
▶ 内蔵ストレージが2台以上搭載されている場合は、ドライブごとにわかりやすくするため、ファイル名を「回復キー C」、「回復キー D」などにしておくことをお勧めします。

7 「回復キーが印刷されました。」と表示されたら、「完了」をクリックします。

8 右上の×をクリックし、ウィンドウを閉じます。

9 画面下の  (エクスプローラー) をクリックします。

10 ①「ドキュメント」をクリックし、②「回復キー」をダブルクリックします。



「Microsoft Edge」が起動し、回復キーが記載された PDF ファイルが表示されます。

Point

- ▶ 「Microsoft Edge によろこそ」というメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って「Microsoft Edge」のセットアップを完了させてください。

「はじめに行う設定」で初期設定する

「はじめに行う設定」から、パソコンを快適にお使いになるために必要な初期設定を行ってください。

- 1  ▶「おすすめ」の「はじめに行う設定」の順にクリックします。
見つからないときは  ▶「すべてのアプリ」▶「はじめに行う設定」の順にクリックしてください。

- 2 「ユーザーアカウント制御」が表示されたら、「はい」をクリックします。

- 3 「まとめて設定する」をクリックします。



Point

- ▶ 各項目の「ユーザー登録」や「設定する」をクリックして、項目ごとに設定することもできますが、まとめて設定することをお勧めします。
- ▶ パソコンを再起動したときに「はじめに行う設定」が自動起動される場合があります。すべての設定を実行した場合は、「次回から「はじめに行う設定」を自動起動しない」の をクリックして にしてから、「はじめに行う設定」を終了すると、次回から自動起動しなくなります。

- 4 「設定が完了しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

「Microsoft Edge」が起動します。

Point

- ▶ 「Microsoft Edge によろこそ」というメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って「Microsoft Edge」のセットアップを完了させてください。

5 「Microsoft Edge」画面右上に「「Microsoft Edge」に「MyCloudかんたんアクセス」が追加されました」という画面が表示されたら、「拡張機能をオンにする」をクリックします。



この後は画面の指示に従って操作してください。

Point

- ▶ 「My Cloud かんたんアクセス」については、FMV サポートページからQ&Aナンバー「3811-2505」を検索してご覧ください(→P.66)。
- ▶ 「「Microsoft Edge」に「MyCloudかんたんアクセス」が追加されました」という画面が表示されなかったり、消えてしまったりした場合は、しばらく待って次のように操作してください。

Q&A ナンバー
3811-2505



1. 「Microsoft Edge」を起動し、画面右上の「…」をクリックし、表示されたメニューから「拡張機能」をクリックします。
2. 「拡張機能の管理」をクリックします。
3. 「MyCloudかんたんアクセス」の をクリックして にします。



4. 「拡張機能をオンにする」をクリックします。



6 「Microsoft Edge」の「My Cloud アカウント登録」タブをクリックし、画面の指示に従って富士通パソコンユーザー登録または製品情報の追加登録を行います。

ユーザー登録とは

ご購入されたパソコンとお客様の情報を登録していただくことです（入会費・年会費無料）。

ユーザー登録をすると、保証開始日^注から1年間の無料電話相談などの手厚いサポートや専用の充実したサービスをご利用いただけます。

注：パソコン本体に初めて電源を入れた日

Point

- ▶ メールアドレスを入力する画面が表示された場合は、Windows のセットアップ中の「富士通パソコンのご利用登録」（→P.36）でご登録いただいたメールアドレスを入力してください。

発行されたユーザー登録番号と My Cloud ID として設定したメールアドレスを、記入しましょう。

- ユーザー登録番号はお問い合わせや修理依頼のときに必要です。

The form consists of two input fields on the left and a large text area on the right. The first field is labeled 'ユーザー登録番号' (User Registration Number) and the second is 'メールアドレス (My Cloud ID)' (Email Address (My Cloud ID)). The text area contains an '@' symbol and a note: '※パスワードも、絶対に忘れないようにしてください。' (Note: Passwords should also be remembered absolutely).

※ 記入した情報は、第三者に漏れないように十分に注意して管理してください。

※ 参照しやすいように巻末にも記入欄を用意しました。ご利用ください。

7 「設定を完了して次に進む」をクリックします。

設定が完了した項目に「済」マークが付いています。



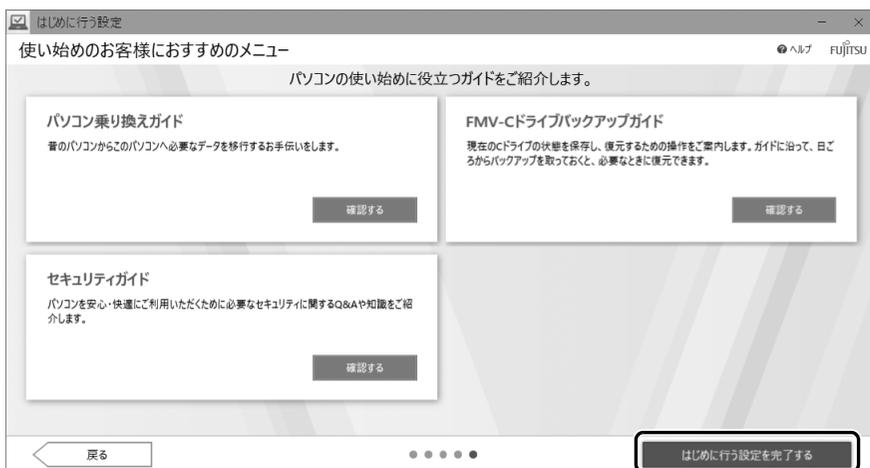
- ▶ 「パソコンのユーザー登録」は数日後に「済」マークが表示されます。このパソコンがユーザー登録を確認するのに数日程度かかるためです。



8 「使い始めのお客様におすすめのメニュー」が表示されたら、読み進めます。

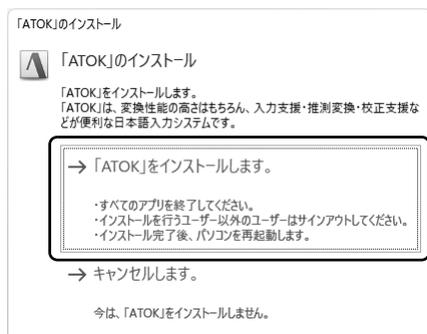
興味のある項目は「詳しく見る」や「確認する」をクリックしてください。画面右下の「次のメニューに進む」をクリックし、すべてのメニューをご覧ください。

9 「はじめて行う設定を完了する」をクリックします。



10 「[ATOK]のインストール」ウィンドウが表示された場合は、「[ATOK]をインストールします。」をクリックします。

「ATOK」のインストールが開始されます。しばらくお待ちください。



11 「[ATOK] のインストールを完了するには、パソコンを再起動する必要があります。」と表示された場合は、「はい」をクリックします。

パソコンが自動で再起動し、再起動後に「ATOK」が使えるようになります。



- ▶ 「ATOK」のインストールをキャンセルした場合は、 ▶ スタートメニュー右下の (電源) ▶ 「再起動」の順にクリックし、再起動してください。

「詐欺ウォール」の初期設定をする

お客様を、悪質なネット詐欺から守るために、「詐欺ウォール」の設定をしてください。

「詐欺ウォール」は「Microsoft Edge」などのブラウザでご利用いただけるバックグラウンド常駐型の「ネット詐欺」専用セキュリティソフトです。FMVサポートページでは画面例のある詳しい手順を公開しています。必要に応じてQ&Aナンバー「2611-2482」を検索してご覧ください(→P.66)。

Q&A ナンバー
2611-2482



1 ▶ 「すべてのアプリ」▶ 「詐欺ウォール」の順にクリックします。

「詐欺ウォール」が見つからない場合は画面をスクロールしてください。

2 「詐欺ウォール使用許諾契約書」ウィンドウが表示された場合は、「使用許諾に同意する」をクリックします。

- 3 「富士通 FMV ユーザー様限定」という画面が表示された場合は、「体験版を開始する」をクリックします。



- 4 「ユーザーアカウント制御」が表示されたら、「はい」をクリックします。

- 5 「拡張機能を追加してください。」というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。

- 6 「Microsoft Edge」が起動しない場合は、「ブラウザ拡張機能」の「Microsoft Edge をご利用の方は」の「設定」をクリックします。



7 「Microsoft Edge」が起動したら、画面の表示に従って、拡張機能を設定します。

この後は画面の指示に従って操作してください。

Point

- ▶ 「詐欺ウォール」は、ご利用開始から 90 日間無料でご利用いただけます。90 日を過ぎますと、「詐欺ウォール」の機能が無効となり、悪質なネット詐欺からお客様が守られなくなります。有効期限が近づきましたら、必ず延長手続きをしてください。延長手続き方法は、「詐欺ウォール」や「富士通アドバイザー」からお知らせします。

これでセットアップは完了です。

パソコンの始め方と終わり方

セットアップが完了した後、作業を中断したり、しばらく使用しないときの操作方法です。

パソコンの始め方

1 電源ボタン (⏻) をポチッと押します。

ロック画面が表示されます。



(ロック画面)

(画面は機種や状況により異なります)

Point

- ▶ 顔認証対応 Web カメラ搭載機種で顔認証の設定をしている場合は、ロック画面が表示されているときにカメラに顔を向けることで認証され、サインインできます。

2 [Enter] を押し、PIN を入力し、Windows にサインインします。

「Windows のセットアップをする」の手順 23 (→ P.34) で設定した PIN です。

パソコンの終わり方

■ 普段の終わり方

- 1 **パソコンの電源ボタン (⏻) を押してスリープにします。**
(WF-X/G1 を除く)

素早く作業を再開できます。

Point

- ▶  ▶  (電源) ▶ 「スリープ」の順にクリックしてスリープにすることもできます。
- ▶ WF-X/G1 では電源ボタン (⏻) を押すとシャットダウンします。上記手順でスリープにしてください。

■ しばらく使わないときの終わり方

- 1  ▶  (電源) ▶ 「シャットダウン」の順にクリックします。
(WF-X/G1 の場合は、電源ボタン (⏻) を押してシャットダウンします。)

「シャットダウン」で中断後は、働かない機能があるので注意が必要です。詳しくは  『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」をご覧ください (→ P.59)。

使い始める

セットアップが終わったら、いよいよパソコンを使い始めましょう。

ここでは、パソコンを使い始めるときに知っておいていただきたい代表的なことを紹介します。



万が一に備える

回復ドライブ（リカバリ用）を作成する

→ P.52



いろいろお話して、ちょっと未来な暮らしをはじめ

いつもアシスト **ふくまる**
を利用する

→ P.53



オンライン通話を快適に

「AIノイズキャンセリング」を使う

→ P.54



瞬感起動設定ユーティリティ

瞬感起動を設定する

→ P.55

Word や Excel を使いたい

Office を利用する

→ P.57



インターネットやメールを利用する

ビギナーガイドでパソコンに慣れる

→ P.57

Windows 11 スタートガイド

Windows 11 について知る

→ P.57



活用方法からトラブル解決まで

「富士通アドバイザー」を活用する

→ P.58



万が一に備える

バックアップする

→ P.60



豊富なジャンルのソフトを使いたい

『ソフ得』ソフト使い放題

→ P.61



万が一に備える

家族のパソコンやスマホを守る

→ P.62

回復ドライブ（リカバリ用）を作成する

万が一に備えて早めに作成してください。

回復ドライブ（リカバリ用）を作成しておくことで、Windows が起動しないなど、パソコンに問題が発生したときに、修復できる場合があります。

※ FMV サポートページでは画面例のある詳しい手順を公開しています。必要に応じて Q&A ナンバー「8511-2867」を検索してご覧ください（→ P.66）。

Q&A ナンバー
8511-2867



32GB 以上の容量を持つ USB メモリを 1 つ用意してください

- ・容量が 32GB に満たない USB メモリを複数用意しても作成できません。また、Blu-ray Disc や DVD には作成できません。
- ・セキュリティ機能付やハードウェア暗号化機能付など、一部の USB メモリの中には、Windows 11 の回復ドライブ（リカバリ用）の作成に対応していないものがあります。また、作成できた場合も、回復ドライブ（リカバリ用）からの復元時に起動できない場合があります。ご購入時に、回復ドライブ（リカバリ用）の作成に対応しているか確認してください。
- ・回復ドライブ（リカバリ用）を作成すると USB メモリ内のデータはすべて削除されます。必要なデータは事前にバックアップしてください。
- ・回復ドライブ（リカバリ用）を作成後に、データを追加したり、他の用途に使ったりすることはできません。

回復ドライブ（リカバリ用）を作成するうえでの注意

- 回復ドライブ（リカバリ用）の作成に使用する USB メモリ以外の、USB メモリや外付けハードディスクは、必ず取り外してください
接続したまま操作すると、大切なデータが消去されてしまう可能性があります。
- 管理者アカウントで Windows にサインインしていることを確認してください
セットアップ時に作成した Microsoft アカウントは管理者アカウントです。
- 作成した回復ドライブ（リカバリ用）は紛失しないよう大切に保管してください

回復ドライブ（リカバリ用）の作成手順

1.  ▶ 「すべてのアプリ」▶ 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
見つからないときは、画面をスクロールしてください。
2. 「システムとセキュリティ」▶ 「セキュリティとメンテナンス」▶ 「 回復」▶ 「回復ドライブの作成」の順にクリックします。
「ユーザーアカウント制御」が表示されたら、「はい」をクリックします。
3. 「回復ドライブの作成」という画面が表示されたら、「システムファイルを回復ドライブにバックアップします。」をクリックして にし、「次へ」をクリックします。
4. 「USB フラッシュドライブの接続」という画面が表示されたら、パソコンの USB コネクタに 32GB 以上の USB メモリを接続します。
5. 「USB フラッシュドライブの選択」という画面が表示されたら、「使用可能なドライブ」欄に USB メモリを接続したドライブが表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
6. 「作成」をクリックします。
回復ドライブ（リカバリ用）の作成が完了するまで、しばらく待ちます。
7. 「回復ドライブの準備ができました」と表示されたら、「完了」をクリックします。

「いつもアシスト ふくまる」を利用する

「いつもアシスト ふくまる」を使うと、キャラクターとの会話から、生活に便利な機能を楽しく利用できます。ふくまるはあなたの新しい家族になって、あいさつしたり、天気を教えてくれたりして、あなたの生活をアシストしてくれます。

1 「いつもアシスト ふくまる」の順にクリックします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

ふくまるからのメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。ふくまるについての説明が表示されたら、読み進めてください。

2 使用許諾契約書が表示された場合は、よく読んでから「利用許諾に同意する」をクリックして にし、「つぎへ」をクリックします。

3 この後はふくまるがご案内します！



ふくまるにできる主な機能

ふくまるプレーヤー
声をかけるとパソコン内の音楽や写真を再生してくれます。



ふくまるカメラ
パソコンのカメラを使ってお部屋の様子を外から確認できます。



ふくまるリモコン
声をかけるとご自宅の家電を操作してくれます。



※ 機能は予告なく変更になることがあります。

※ 一部機能は周辺機器が必要となります。

「AI ノイズキャンセリング」を使う

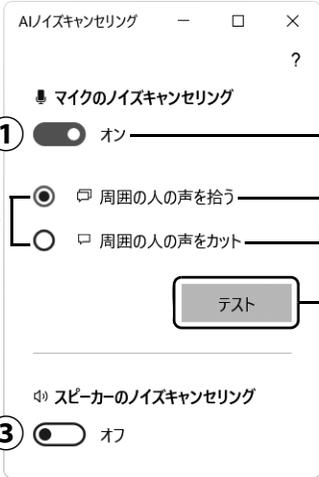
マイクやスピーカーからノイズをカットし、オンライン通話アプリなどの音声品質を向上させることができます。オンライン通話などでペットの鳴き声や生活音が相手に聞こえていないか気になる方にお勧めの機能です。

初期設定をして快適にオンライン通話をしましょう。

- 1  ▶「すべてのアプリ」▶「AI ノイズキャンセリング」の順にクリックします。
「AI ノイズキャンセリング」が見つからない場合は画面をスクロールしてください。

- 2 「AI ノイズキャンセリング」ウィンドウが表示されたら、「始める」をクリックします。

- 3 マイクが ①  (オン) になっていることを確認し、② どちらかお使用の環境を選択します。
通話相手の音声からノイズをカットしたい場合は、スピーカーのノイズキャンセリングの ③  (オフ) をクリックし、 (オン) にします。



①  オン ———— オンにすると、キーボードをたたく音や、周りの声を除去するので、こちらの声が相手に聞こえやすくなります。

② 周囲の人の声を拾う ———— 複数人でこのパソコンのマイクを使う場合に適しています。

周囲の人の声をカット ———— 一人でこのパソコンのマイクを使う場合に適しています。

 テスト ———— ノイズキャンセリングした音声に通話相手にどのように聞こえるかテストできます。クリックして表示された画面で「録音中」と表示されているときに話してください。しばらくすると、相手に聞こえるのと同じように再生されます。

③  オフ

スピーカーのノイズキャンセリング



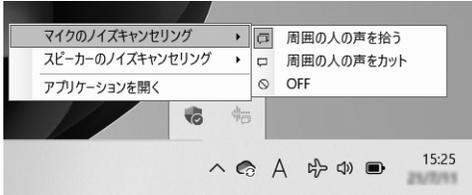
録音中 → 再生中

通話相手にはこのように聞こえます

4 ×をクリックしてウィンドウを閉じます。

Point

- ▶ 「AI ノイズキャンセリング」を起動し初期設定した後は、通知領域の  をクリックし、 を右クリックして設定を変更できるようになります。



- ▶ 「AI ノイズキャンセリング」について、詳しくは  『取扱説明書<活用ガイド>』(→ P.59) の「使いこなすために」をご覧ください。

瞬感起動を設定する

23.8 型ワイドのみ

「瞬感起動設定ユーティリティ」を使うとパソコンの前に座るだけで自動でスリープから復帰（レジューム）する瞬感起動を有効にできます。

重要

- ▶ 瞬感起動はこのパソコンに搭載されている人感センサーと Windows Hello の顔認証を使います。Microsoft アカウントに切り替え、顔の登録を完了させてから設定してください。

1 ▶「すべてのアプリ」▶「瞬感起動設定ユーティリティ」の順にクリックします。

「瞬感起動設定ユーティリティ」が見つからないときは、画面をスクロールしてください。

2 「瞬感起動を有効にする」の (オフ) をクリックして (オン) にします。



3 「登録済み」をクリックします。



Point

- ▶ 「サインインオプション設定へ」をクリックすると、顔の登録ができる画面が表示されます。顔を登録していない場合は登録してください。

4 「瞬感起動ユーティリティ」ウィンドウ右上の × をクリックして終了します。

これで瞬感起動が有効になりました。

重要

- ▶ 瞬感起動をお使いになるには、パソコンの使用を中断するときに必ずパソコン本体またはキーボードの電源ボタンを押して、パソコンをスリープ状態にしてください。▶  (電源)▶ 「シャットダウン」の操作をすると完全に電源が切れるため、瞬感起動を使用することができません。
- ▶ 詳しくは  『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」をご覧ください (→ P.59)。

Office を利用する

初めて使うときの設定

「Word」や「Excel」、「Outlook」（メールアプリ）などの Office の製品は、初めてお使いになるときにインターネットに接続して設定を行う必要があります。設定方法は FMV サポートページから Q&A ナンバー「4011-1777」を検索してご覧ください（→P.66）。

Q&A ナンバー
4011-1777



Office 製品のお問い合わせ先

使い方がわからないときは、「Word」や「Excel」、「Outlook」（メールアプリ）などの Office 製品のお問い合わせ先（→P.64）をご覧ください。日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

ビギナーガイドでパソコンに慣れる

初めてパソコンをお使いになる方は、ビギナーガイドを活用し、パソコンに慣れ、楽しく使えるようになります。最初に覚えておきたい基本的な使い方を厳選して紹介しています。

ビギナーガイド

https://azby.fmworld.net/usage/beginners_guide/

スマートフォンからもご利用いただけます。QRコードをご利用ください。



ご紹介内容

- 日本語入力／変換の基礎を知る
- 壁紙やロック画面の設定変更など
- セキュリティ対策ソフトの設定、Windows Update の重要性、およびインターネットやメールを安全に利用するために必要な注意事項や対策など

Windows 11 について知る

Windows 11 スタートガイド は Windows 11 の便利な設定や操作方法、活用情報、アップデート情報など、Windows 11 パソコンに関する情報をまとめてご紹介しています。お使いのパソコンからデータを引っ越す方法などもご紹介しています。

Windows 11 スタートガイド

<https://azby.fmworld.net/win11/>

スマートフォンからもご利用いただけます。QRコードをご利用ください。



「富士通アドバイザー」を活用する

パソコンを安心・快適にお使いいただくためのさまざまな情報を入手できます。

1 タスクバーの (富士通アドバイザー) をクリックします。



型名、製造番号、保証開始日、Windows 11のエディションとバージョン

(画面は機種や状況により異なります)

Point

- ▶ 利用規約が表示された場合、「同意する」をクリックしてください。「同意する」が隠れている場合は、ウィンドウを広げてから「同意する」をクリックしてください。
- ▶ 「更新プログラムを今すぐダウンロードしてインストールしますか？」というメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。更新が完了したら「富士通アドバイザー」を起動しなおしてください。

サポート&サービス情報

画面左側の「サポート&サービス情報」をクリックすると、受信したお知らせが表示されます。

● 使い始めの時期のお役立ち情報

Windows 11の基本的な使い方、古いパソコンやタブレットからのデータの移行方法などの、使い始めの時期に役立つ情報をお知らせします。

● 緊急のお知らせ

Windows やアプリのセキュリティ危機、障害などが発生したときに、対処方法をお知らせします。

Point

- ▶ 新しくお知らせを受信すると、画面右端からメッセージが表示されます。「続きを読む」をクリックすると、「富士通アドバイザー」が起動して、詳細を確認できます。「閉じる」をクリックすると、メッセージは消えますがバッジは残ります。もう一度クリックするとメッセージを再表示することができます。

・バッジなしの場合やメッセージが消えてしまったときは、タスクバーの  (富士通アドバイザー) をクリックして「富士通アドバイザー」を起動してください。



バッジ

(画面は機種や状況により異なります)

『取扱説明書<活用ガイド>』を読む

『取扱説明書<活用ガイド>』には、このパソコンに搭載されている機能やアプリを使いこなすための情報が掲載されています。必要に応じてお読みください。

1 「富士通アドバイザー」の画面左側の「マニュアル」をクリックします。

『取扱説明書<活用ガイド>』が表示されます。

Point

- ▶ 「このファイルを開く方法を選んでください」と表示された場合は、「Microsoft Edge」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックしてください。
- ▶ セットアップ直後はネットワークの状況やタイミングによってダウンロードに時間がかかることがあります。お急ぎの場合は画面左側の「機種別サポート情報・ダウンロード」をクリックし、表示されたページから 『取扱説明書<活用ガイド>』をダウンロードしてください。

■ 『取扱説明書<活用ガイド>』の内容

● 各部の名称と働き

本製品の各部分の名称と働きについて説明しています。

● 取り扱い

本製品の基本的な取り扱い方法について説明しています。主な掲載内容は次のとおりです。

- ・ Windows のスタート／終了方法
- ・ マウス、光学ドライブ、メモリーカードなど各部の取り扱い方法（搭載機種のみ）
- ・ 音量や画面の明るさの調節
- ・ お手入れの方法

● 使いこなすために

本製品ならではの機能のご紹介や、本製品を使いこなすための細かい設定方法などを説明しています。

- ・ @メニューなどの搭載アプリの説明
- ・ スリープや節電方法
- ・ ディスプレイ、サウンド、通信、フィルタリングの設定
- ・ BIOS の設定
- ・ Windows Hello の設定（顔認証対応 Web カメラ搭載機種のみ）

トラブル解決

画面左側の「トラブル解決」をクリックすると、パソコンでよくあるトラブル（起動・終了時、Windows、アプリ関連など）についての Q&A をご覧いただけます。

機種別サポート情報・ダウンロード

画面左側の「機種別サポート情報・ダウンロード」をクリックすると、お使いの機種の最新のドライバーやマニュアルを公開しているページを表示できます。

『取扱説明書<活用ガイド>』以外のマニュアルがある場合は、このページからダウンロードできます。

「富士通アドバイザー」(スマートフォン版) のご紹介

「富士通アドバイザー」(スマートフォン版) をご利用いただくと、万が一、パソコンが起動しなかったり、インターネットに接続できなかったりした場合でも、サポート情報やマニュアルをご覧いただけます。

※ Android 4.0 以上、iOS 9.0 以上を搭載したスマートフォンが必要です。

※ 「富士通アドバイザー」(スマートフォン版) の利用設定が必要です。

■ ダウンロード手順

1. 「富士通アドバイザー」(スマートフォン版) のダウンロードページを表示します。

<https://azby.fmworld.net/support/mycloudapps/download/#fjadviser>

2. Google Play のバナーまたは App Store のバナーをクリックして、アプリをダウンロードします。



スマートフォンから



バックアップする

万が一なんらかの原因で、Windows がうまく起動しなくなった場合や、データを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータは予備を保存しておくことをお勧めします。データの予備を保存しておくことを「バックアップ」と言います。

C ドライブバックアップガイド

「FMV-Cドライブバックアップガイド」では、システムイメージバックアップという C ドライブをバックアップ/復元できる Windows 11 の機能などについて説明しています。

次の手順で「FMV-Cドライブバックアップガイド」をご覧になることができます。

- 1  ▶ 「すべてのアプリ」▶ 「FMV-C ドライブバックアップガイド」の順にクリックします。

「FMV-Cドライブバックアップガイド」が見つからないときは、画面をスクロールしてください。

システムイメージバックアップやその他のバックアップ方法を組み合わせて、忘れずにバックアップをとりましょう。

『ソフ得』 ソフト使い放題

『ソフ得』 ソフト使い放題』は、100種類以上、総額44万円相当のアプリが、月額550円（税込）で使い放題になる大変便利なサービスです。お申し込みいただくとすぐに、使いたいアプリを使いたいときに、いくつでもダウンロードして使用できます。

こんなアプリが使えます

- ・ パソコン高速化ソフト「Wise Care 365 Pro」
 - ・ 動画ダウンロードソフト「動画ダウンロード保存 6」
 - ・ パソコンゲーム「IT 麻雀 2」
 - ・ 写真編集ソフト「かんたん写真編集 5」 など…
- (2022年2月時点取り扱いアプリ)

使用できるすべてのアプリや使い方の詳細については、ホームページをご覧ください。

<http://azby.fmworld.net/bm/st3/>

Point

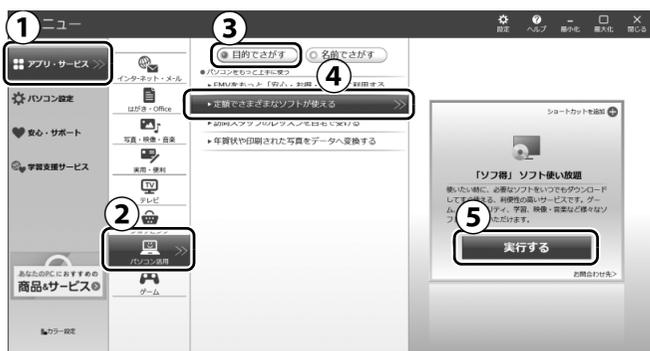
- ▶ ご利用にあたって必要となる環境などは、次のとおりです。
 - ・ インターネットへの接続
 - ・ My Cloud アカウント…『ソフ得』のお申し込み手続きのときに取得することもできます。
 - ・ クレジットカード…ご利用料金のお支払いはクレジットカードのみとなります。

使い放題ツール

『ソフ得』 ソフト使い放題』をご利用になるには、「使い放題ツール」が必要になります。

「使い放題ツール」では、サービスへのお申し込み、アプリのインストール、インストールしたアプリの管理を行います。※「**使い放題ツール**」のインストールは無料です。

1. タスクバーの @ (@メニュー) をクリックします。
2. ①「アプリ・サービス」▶②「パソコン活用」▶③「目的でさがす」▶④「定額でさまざまなソフトが使える」▶『ソフ得』 ソフト使い放題』の⑤「実行する」の順にクリックします。



(画面は機種や状況により異なります)

3. 「ソフト使い放題 セットアップ セットアップ」ウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックし、その後は画面の指示に従って「ソフト使い放題 セットアップ」をインストールします。
4. デスクトップの (ソフト使い放題セットアップ) をダブルクリックし、その後は画面の指示に従って「使い放題ツール」をインストールします。

家族のパソコンやスマホを守る

富士通のパソコンは、3年間無料で使えるセキュリティソフト「マカフィー リブセーフ」が入っています。すべての機能を利用するためには、メールアドレスの登録が必要です。

重要

- ▶ メールアドレスを登録する前に、「マカフィー リブセーフ」をアンインストールすると、3年間無料で使える権利がなくなります。
- ▶ アプリは最新の状態にしてお使いください。
- ▶ Windows のセットアップ中の「富士通パソコンのご利用登録」(→ P.36) でメールアドレスを登録していない場合は、次の手順でメールアドレスを登録してください。
 1. ▶「すべてのアプリ」▶「マカフィー リブセーフ」の順にクリックします。
「マカフィー リブセーフ」が見つからないときは、画面をスクロールしてください。
 2. 「新しいマカフィーによろこそ」と表示されたら、「開始」をクリックします。
 3. 画面左の  (または画面右上の )▶「契約情報」▶「マイアカウントに移動する」の順にクリックします。
 4. 登録したいメールアドレスを入力して、「続ける」をクリックします。
 5. 「完了」をクリックします。メールアドレスを登録すると、マカフィーからメールが届きます。メールをお読みにになり、登録を完了させてください。

家族みんなのパソコン、スマートフォンやタブレットなどのデバイスを「マカフィー リブセーフ」で守ることができます。何台でも追加料金は不要です。

※ お客様が所有し、個人的に使用するデバイスまたは同居するご家族のデバイスを、契約期間中、保護します。

※ 提供される機能は OS によって異なります。

「マカフィー リブセーフ」については、FMV サポートページから Q&A ナンバー「9610-5240」を検索してご覧ください (→ P.66)。

また、「マカフィー リブセーフ」の使い方については「ウイルス対策アプリのお問い合わせ先」(→ P.65) をご覧になりマカフィー株式会社にお問い合わせください。

Q&A ナンバー
9610-5240



家族みんなのデバイスに、「マカフィー リブセーフ」をインストールする

1. ▶「すべてのアプリ」▶「マカフィー リブセーフ」の順にクリックします。
「マカフィー リブセーフ」が見つからないときは、画面をスクロールしてください。
2. 「新しいマカフィーによろこそ」と表示されたら、「開始」をクリックします。
3. 画面左の ▶「他のデバイスを保護する」の順にクリックし、表示された画面で「メールアドレス」をクリックしてチェック します。
(が見つからない場合は、画面右上の ▶「デバイス」の順にクリックし、表示された画面で「では始めましょう」をクリックします。)
4. 保護したいデバイスで受信できるメールアドレスを入力し、「リンクの送信」をクリックします。
5. 保護したいデバイスで受信したメールを開き、該当の OS の「保護する」をクリックします。
この後は画面の指示に従って「マカフィー リブセーフ」をインストールしてください。

他のウイルス対策アプリを利用する場合

「マカフィー リブセーフ」をアンインストールする必要があります。アンインストール方法は FMV サポートページから Q&A ナンバー「9410-5202」を検索してご覧ください (→ P.66)。

困ったときは

電源が入らない、動作がおかしい、使い方がわからないなど、お客様の状況にあわせて、さまざまな解決手段があります。

使い方がわからない (→ P.63)

- ・ Windows の操作
- ・ インターネットやメール
- ・ アプリの使い方 etc.



動作がおかしい (→ P.66)

- ・ キーボードやマウスが使えない
- ・ メッセージが表示される
- ・ 文字がうまく入力できない etc.

故障かな?と思ったら (→ P.67)

- ・ 電源が入らない
- ・ 画面が映らない etc.

使い方がわからない

製品の使い方、Windows の基本的な使い方、インターネットの閲覧やメールなどは、次の方法で調べましょう。

本製品の取り扱い方法や使い方

 『取扱説明書<活用ガイド>』で説明しています。

1 タスクバーの  (富士通アドバイザー) をクリックします。

2 画面左側の「マニュアル」をクリックします。

FMV サポートページ

<https://azby.fmworld.net/support/>

さまざまな情報をご用意しています。



スマートフォンから

Windows 11 の情報、基本操作などを知りたいなら

Windows 11 スタートガイド

<https://azby.fmworld.net/win11/>

インターネットやメールの操作、文字入力の方法などを知りたいなら

ビギナーガイド（パソコン活用情報）

https://azby.fmworld.net/usage/beginners_guide/



- ▶ FMV サポートページは「富士通アドバイザー」からもご覧になれます。
 1. タスクバーの (富士通アドバイザー) をクリックします。
 2. 「サポート&サービス情報」の「サポートページで調べる」をクリックし、「続きを読む」をクリックします。

アプリの使い方

アプリの提供会社にお問い合わせください。ホームページなどに、活用事例や Q&A 事例などが掲載されている場合もあります。

※ 搭載されているアプリは、お使いの機種により異なります。

■ 「Word」や「Excel」、「Outlook」（メールアプリ）などの Office 製品のお問い合わせ先

オフィス ホーム ビジネス Office Home & Business 2021 オフィス パーソナル Office Personal 2021 エクセル ワンノート アウトLOOK パワーポイント 「Excel」、「OneNote」、「Outlook」、「PowerPoint」、 「Word」、「楽しもう Office」のお問い合わせ先もこちらです。	日本マイクロソフト株式会社 マイクロソフト サポート窓口 URL : https://aka.ms/online
--	---

※ 搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

■ ウイルス対策アプリのお問い合わせ先

「マカフィー リブセーフ 3年無償版」をご利用いただけます。

マカフィー リブセーフ McAfee Security	マカフィー株式会社 カスタマーサポート 電話：0570-000-500 ①インストール方法、製品削除など技術に関するお問い合わせ窓口 受付時間：9:00～21:00（年中無休） ②ご契約の更新、ご契約期間の確認など、ご契約に関するお問い合わせ窓口 受付時間：9:00～18:00（年中無休） URL： https://www.mcafee.com/ja-jp/consumer-support/help/support.html チャット： https://service.mcafee.com/?page=shell&shell=contact-support&locale=ja-JP マカフィー リブセーフ、McAfee Securityの有効期限まで、サポートいたします。
--	---

■ その他のアプリのお問い合わせ先

本製品に搭載されているアプリで、次のアプリ以外は弊社がサポートいたします。

Corel® PaintShop® Pro 2021 SE	コーレル株式会社 コーレルサポートセンター 電話：0570-003-002（ナビダイヤル） 受付時間：10:00～12:00、13:30～17:30（土・日・祝日・指定休業日を除く） URL： https://www.corel.com/jp/support/
i-フィルター	デジタルアーツ株式会社 サポートセンター 電話：0570-00-1334 受付時間：10:00～18:00（指定休業日を除く） URL： https://www.daj.jp/faq/ お問い合わせフォーム： https://www.daj.jp/ask/ 試用期間中、サポートいたします。
Learn to Speak English X3	LTS 株式会社 ユーザーサポート窓口 Eメール： fujitsu@elanguage.com
PowerDirector 16	サイバーリンク株式会社 サイバーリンクカスタマーサポート 電話：0570-080-110（ナビダイヤル）、 03-5205-7670（一部のIP電話から） 受付時間：10:00～13:00、14:00～17:00（土・日・祝日・特別休業日を除く） URL： https://jp.cyberlink.com/support/index.html
詐欺ウォール / Internet SagiWall	BBソフトサービス株式会社 詐欺ウォールサポートセンター 電話：03-6683-6236 受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日、指定休業日を除く） 問い合わせ Web フォーム： https://bbsoft.bbss.co.jp/contact/inquiryInputSw.do 体験期間中サポートいたします。
ソフト使い放題	株式会社オプティム ソフ得 ソフト使い放題サポートセンター 電話：ご契約前のお客様 03-6435-8566 ご契約後のお客様 050-3816-6964 受付時間：10:00～18:00（年中無休） FAQ： http://azby.fmworld.net/monthly/faq.html?unlimitedfrom=unlimitedNavi_faq#unlimited お問い合わせフォーム： https://www.optim.co.jp/contents/12049

※ 搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

筆ぐるめ 28	富士ソフト株式会社 筆ぐるめ インフォメーションセンター 電話 (ナビダイヤル) : 0570-550-211 (IP 電話の場合 : 03-5638-6139) 受付時間 : 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土日、祝祭日、及び弊社休業日を除く / 11月1日から12月30日までは無休 (12月30日は12:00まで)) URL : https://fudegurume.jp/ Eメール : users@fsi.co.jp
プログラミングゼミ	株式会社ディー・エヌ・エー Eメール : support@programmingzemi.com

※ 搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

動作がおかしい

Windows が起動するのに、キーボードやマウスが使えなくなったり、各種メッセージが表示されたりするなど、急に動作がおかしくなった場合は、次の順序で確認しましょう。

1 再起動する

再起動することで解決する場合があります。

- ①    (電源) ▶ 「再起動」の順にクリックします。
しばらくすると、Windows が再起動します。

2 「富士通アドバイザー」の「トラブル解決」を見る

お使いの機種に関するトラブル解決方法をご案内しています。

- ① タスクバーの  (富士通アドバイザー) をクリックします。
- ② 「トラブル解決」をクリックし、状況にあわせて対処を実施します。

3 FMV サポートページを見る

<https://azby.fmworld.net/support/>

最新のお問い合わせ内容をもとに、さまざまなトラブル解決方法をご案内しています。

FMV サポートページは、「富士通アドバイザー」から見るすることができます。

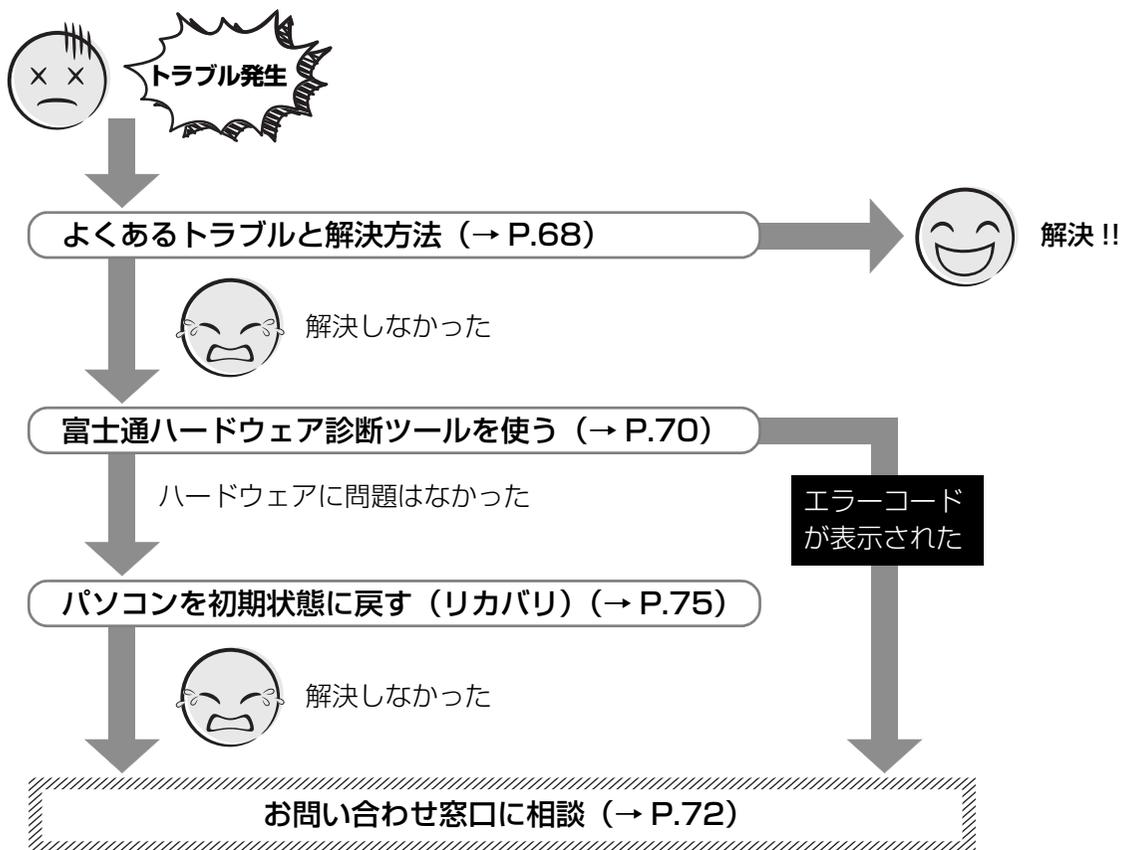
- ① 「富士通アドバイザー」の「サポート&サービス情報」の「サポートページで調べる」をクリックし、「続きを読む」をクリックします。
- ② FMV サポートページ上部の入力欄に、困っていることに関連するキーワードを入力し、入力欄の横にある「検索」をクリックします。
入力欄に「Q&A ナンバー」を入力して検索することもできます。

4 パソコンを以前の状態に戻す (→ P.71)

5 「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」に相談する (→ P.72)

故障かな？と思ったら

パソコンの電源が入らない、電源は入っても画面に何も映らないなど、Windowsが起動しないような場合は、次の手順で確認しましょう。



「ネットで故障診断」で診断する

<https://azby.fmworld.net/webpcrepair/>

お使いのパソコンが動作しない場合も、他のパソコンやスマートフォンから、画面上で質問に答えていくことで、トラブルを診断し、解決できる場合があります。



よくあるトラブルと解決方法

■トラブルが発生した場合、まず次の点を確認してください

- 使用する装置（パソコンや周辺機器）の電源はすべて入っていますか？
- ケーブル類は正しいコネクタに接続されていますか？また、ゆるんだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありますか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（ハブなど）の接続や電源も確認してください。

■起動・終了時のトラブル

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	ACアダプタ、または、電源ケーブルが正しく接続されていない	ACアダプタ、または、電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください（→P.18）。
	上記の対処で解決しない	ACアダプタ、または、電源ケーブルをいったん取り外し、2～3分放置後、再び取り付けてください。
ビープ音（ブザー）が鳴る	連続して誤ったBIOSパスワードを入力した	電源ボタンを10秒以上（WF-X/G1の場合は4秒以上）押し続けて電源を切ります。 10秒以上待ってから電源を入れ直してください。
画面に何も表示されない	ディスプレイのバックライトが消灯している	何かキーを押してください。
	スリープや休止状態になっている	電源ボタンを押してください。
	上記の対処で解決しない	ディスクアクセスランプが消灯していることを確認し、電源ボタンを10秒以上（WF-X/G1の場合は4秒以上）押し続けて電源を切ります。（ディスクアクセスランプが点灯中に電源を切ると、ストレージが壊れる可能性があります。） その後10秒以上待ってから電源を入れ直してください。
Windowsが起動しない	周辺機器が正しく取り付けられていない	周辺機器のマニュアルをご覧ください、正しく取り付けられているか確認してください。
	上記の対処で解決しない	ハードウェアの診断を行ってください（→P.70）。
電源が切れない	Windowsが正しく動いていない	次の手順でWindowsを終了させてください。 ストレージが動作しているときに電源を切ると、ファイルが失われたり、ストレージが壊れたりする可能性がありますので、ご注意ください。 1. [Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押す。 2. [Tab] で画面右下の  を選択して [Enter] を押す。 3. カーソルキーで「シャットダウン」を選択して [Enter] を押す。

症状	考えられる原因	対処方法
電源が切れない (続き)	マウスが使えない	次の手順で、Windows を終了させてください。 1.  を押す。 2. スタートメニューの左下のアカウント名が選択されるまで  を押す。 3. カーソルキーで  (電源) を選択して  を押す。 4. カーソルキーで「シャットダウン」を選択して  を押す。
	上記の対処で解決しない	ディスクアクセスランプが消灯していることを確認し、電源ボタンを 10 秒以上(WF-X/G1 の場合は 4 秒以上) 押して電源を切ります。(ディスクアクセスランプが点灯中に電源を切ると、ストレージが壊れる可能性があります。)
勝手に電源が入る	他のワイヤレスキーボードを誤認している	 『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード/ワイヤレスマウス」をご覧くださいになり、再認識させてください( 『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.59 をご覧ください)。
	瞬感起動が有効になっている (23.8 型ワイドのみ)	瞬感起動が有効になっていると、パソコンの前に人が座ったことを人感センサーが検知し、パソコンが自動でスリープから復帰(レジューム)します。 詳しくは  『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」をご覧ください( 『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.59 をご覧ください)。

■ワイヤレスキーボード/ワイヤレスマウスのトラブル

症状	考えられる原因	対処方法
ワイヤレスキーボード、 ワイヤレスマウスが使えない	電池が正しくセットされていない、または電池が切れている	「キーボード/マウスを準備する」をご覧くださいになり、電池を正しくセットしてください(→P.20)。
	ワイヤレスキーボードまたはワイヤレスマウスの電源が入っていない	ワイヤレスキーボードの背面またはワイヤレスマウスの底面の電源スイッチを ON してください。
	正しく認識されていない	ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスを同時に再認識させることはできません。それぞれ、次の手順で再認識させてください。 1. パソコン本体背面の CONNECT ボタンを押す(→P.14)。 2. 30秒以内にワイヤレスキーボードの背面またはワイヤレスマウス底面の CONNECT ボタンを押す。 3. すぐにパソコンの前に置く。 詳しくは、  『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード/ワイヤレスマウス」をご覧ください( 『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.59 をご覧ください)。

■「富士通ハードウェア診断ツール」を使う

ここまでの内容を確認しても解決しない場合、富士通ハードウェア診断ツールを使います。このパソコンのハードウェア（CPU、メモリ、ディスプレイなど）に問題がないか自動で診断します。

簡易診断、詳細な診断の2段階で診断を行います。

●パソコン本体の電源を切り、あらかじめ周辺機器を取り外しておいてください。

●診断したいハードウェアを選択できます。

●診断時間は5～20分程度です（診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります）。

富士通ハードウェア診断ツールは、キーボードで操作します。

1 BIOSの設定をご購入時の状態に戻します（→P.71）。

2 USBメモリや外付けストレージなどを接続している場合は、取り外します。

3 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

4 キーボードの **SUPPORT** を押します。

5 起動メニューが表示されたら、**↓** を押して、「診断プログラム」を選択し、**Enter** を押します。

6 「診断プログラムを実行しますか？」と表示されたら、**Y** を押します。

簡易診断が始まります。診断が終了すると、診断結果が表示されます。

■エラーコードが表示された場合

メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。その後、**Y** を押してパソコンの電源を切ってください。

■問題がない場合

Enter を押して、次の手順に進んでください。

7 表示された注意事項をよく読み、「OK」をクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」の画面が表示されます。

8 「診断」タブをクリックします。

診断したいアイコンにチェックが付いていることを確認します。

重要

▶ ハードディスクを診断する場合は、次の操作を行ってください。

1. 「ハードディスク」のアイコンを右クリックします。

2. 表示された画面で、「ディスク0」にチェックが付いていることを確認します。

「ディスク0」、「ディスク1」など複数のディスクが表示されている場合は、すべてのディスクにチェックを付けます。

3. 「OK」をクリックします。

9 「実行」をクリックします。

診断が始まります。

Point

▶ 「CD/DVD/BD ドライブに CD-ROM または DVD-ROM をセットしてください。」などと表示された場合は、お手持ちの CD や DVD を光学ドライブにセットして「診断開始」をクリックしてください。

ただし、データが書き込まれていないディスクや、コピーガードされたメディア（映画などの DVD、およびコピーコントロール CD など）は使用できません。

▶ 診断を取りやめる場合は「キャンセル」をクリックしてください。

10 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。

■エラーコードが表示された場合

メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。

■問題がない場合

手順 13 まで行った後、「パソコンを以前の状態に戻す」（→P.71）に進んでください。

11 「診断結果」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」の画面に戻ります。

12 「終了」をクリックします。

「終了」ウィンドウが表示されます。

13 「はい」をクリックします。

パソコンの電源が切れます。

□BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

- 1 USBメモリや外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
- 2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。
- 3 キーボードの **SUPPORT** を押します。
- 4 起動メニューが表示されたら、**↓** を押し、「BIOS セットアップ」を選択して、**Enter** を押します。BIOS の画面が表示されます。

Point

- ▶ Windowsが起動してしまった場合は、手順2から操作をやり直してください。
 - ▶ BIOSの画面が表示されず、Windowsも起動しない場合は、電源ボタンを10秒以上（WF-X/G1の場合は4秒以上）押し電源を切ります。10秒以上待った後、手順3から操作をやり直してください。
- 5 **←**、**→**、**↑**、または **↓** で「終了」または「Exit」メニュー▶「標準設定値を読み込む」の順に選んで **Enter** を押します。
 - 6 「はい」を選んで **Enter** を押します。
 - 7 「変更を保存して終了する」を選んで **Enter** を押します。
 - 8 「はい」を選んで **Enter** を押します。

BIOS セットアップについて詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「使いこなすために」-「BIOS の設定」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.59 をご覧ください）。

■パソコンを以前の状態に戻す

ハードウェアに問題がなく、マニュアルやインターネットの Q&A でも解決できなかった場合は、パソコンが問題なく動作していた時点の状態に戻す、という解決方法があります。

ただし、この解決方法は、今まで作成したデータや設定が削除されてしまう場合があり、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。

本当に必要かどうか再度確認してください。

どうしても必要な場合は、次の説明の参照先に記載された注意事項を必ず確認したうえで行ってください。このパソコンでは2つの方法でパソコンを以前の状態に戻すことができます。

- 「システムイメージバックアップ」から復元する
「システムイメージバックアップ」を作成している場合、作成した時点に戻すことができます。バックアップ後に行った設定や作成したデータなどは削除されます。詳しくは、「Cドライブバックアップガイド」(→P.60)をご覧ください。
- この PC を初期状態に戻す
「システムイメージバックアップ」を作成していない場合は、Windows 11 の機能「この PC を初期状態に戻す」を使い、パソコンをご購入時に近い状態に戻すことができます。ご購入時に近い状態に戻するため、現在お使いの状態に戻すには、アプリをインストールしたり、設定を復元したりなど大変手間がかかる場合があります。詳しくは、「パソコンを初期状態に戻す (リカバリ)」(→ P.75) をご覧ください。

富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口

お客様に合わせたさまざまな方法でお問い合わせができます。

※ 最新の情報は FMV サポートページ (<https://azby.fmworld.net/support/>) でご覧ください。



“チャット”で相談する

スマートフォン対応

WebチャットとLINE公式アカウント「富士通FMV」でご相談ができます。

使い方のアドバイスやお困りごとの解決方法、窓口のご紹介を自動応答にて回答いたします。なお、ご相談内容によっては、オペレーターが対応いたします。

<https://azby.fmworld.net/support/contact/chat/>

自動応答受付時間：24時間
オペレーター受付時間：9:00～18:00

※システムメンテナンス日、当社指定の休日などを除きます。
※操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。
※お問い合わせ内容によっては、他の窓口などへのお問い合わせをお願いする場合があります。

※ LINE相談画面の例



“メール”で相談する

スマートフォン対応

<https://azby.fmworld.net/maillsupport>

Q&A・パソコン活用情報を検索すると専用の質問フォームが表示されます。質問フォームよりお問い合わせをいただいたら後日メールで回答いたします。



“Twitter”

FMV公式アカウント: @Fujitsu_FMV_QA

でアドバイスを受ける

ぜひフォローしてください。お役立ちQ&Aを紹介します。お困り内容をつぶやくと、担当者からアドバイスが届くことも！（「富士通」「FMV」「My Cloud」などの言葉を交えてツイートしてみましょう）

※Twitterの特性を最大限に活かすため、お客様とのやり取りはみなさまに見える状態でツイートいたします。

スマートフォン対応



“電話”で相談する

※ご利用料金に関しては、次ページの「お問い合わせ窓口を利用するうえでの注意」をご覧ください。

技術相談も、修理相談もワンストップで解決! 便利で簡単にご利用できます。

サポートコール予約 <https://azby.fmworld.net/callback> スマートフォン対応

電話相談は予約することもできます。ご予約の時間にサポート担当からお電話を差し上げます。予約時に相談内容を入力していただくため、スムーズにサポートできます。



使い方、技術相談、修理相談、欠品、すべてこちら

 通話料無料	0120-950-222	受付時間：9:00～19:00
携帯電話PHS、IP電話、海外からはこちら (通話料金お客様負担)	045-514-2255	受付時間：9:00～17:00 注：受付時間は窓口によって異なります。 ガイドランスに従ってご利用ください。

※電話番号はお間違えないように、十分ご確認のうえおかけください。
※システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
※音声ガイド内容・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。
※使い方や技術相談のお問い合わせのときは、事前にユーザー登録をお済ませください。 (<https://azby.fmworld.net/entry/>)

お問い合わせ窓口を利用するうえでの注意

■ご利用料金

●パソコン本体に初めて電源を入れた日（保証開始日）から、1年間無料でご利用いただけます。[注]

注：Refreshed PC に関する電話による技術サポートに関しては、1年目もお問い合わせ1件あたり2,090円（税込）となります。また、受付時間は月～金曜日（祝日を除く）9時～17時となります。

●2年目以降

お問い合わせ1件あたり2,090円（税込）

※ My Cloud カードまたは My Cloud プレミアムカードでお支払いの場合は、1,570円/件（税込）でご利用いただけます。

詳しくは、(<https://azby.fmworld.net/members/mycloudcard/>) をご覧ください。

※ プレミアムサービスに利用登録されているお客様のご利用料金につきましては、プレミアムサービスの専用ホームページにてご案内いたします。

Point

- ▶ 保証開始日および型名は「富士通アドバイザー」（→P.58）の画面右上から確認できます。
- ▶ お問い合わせ1件は、お電話の回数ではなく、技術相談1項目ごとに1件と扱います。同じご相談内容であれば次回お問い合わせいただく際、料金は加算いたしません（ただし14日以内に限りです）。

■お支払い方法

次のいずれかの方法でお支払いいただけます。

クレジットカード	サポート開始のときに SMS またはメールで送りするお支払い専用ページのフォームより、クレジットカード番号、有効期限、セキュリティコードを入力して手続きしてください。
コンビニ振込	コンビニ振込をご利用の場合は、手数料が別途210円かかります。

■お問い合わせ前に確認してください

●ユーザー登録はしましたか？

ユーザー登録方法は「「はじめに行う設定」で初期設定する」（→P.43）の手順6をご覧ください。

●お使いのパソコンをお手元にご用意いただけますか？

お電話中に操作を行っていただく場合があります。

修理の申し込み

修理を申し込むうえでの注意

- 修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。
- 「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」（→P.90）を確認のうえ、同意をお願いします。
 - ・修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号をお伺いいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては第13条（個人情報の取り扱い）をご覧ください。
- ホームページで概算修理料金を確認できます。
<https://azby.fmworld.net/support/repair/syuribin/charge.html>
- 保証書をお手元にご用意ください。
保証期間は、初めてパソコン本体の電源を入れた日（保証開始日）から1年間となります（→P.73）。保証期間内は無料で修理させていただきます。ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。
- 故障品をお手元にご用意ください。
お申し込み時に操作いただく場合があります。
- 修理を円滑に行うために実施していただきたいことがあります。
FMV サポートページから Q&A ナンバー「9111-2878」を検索してご覧ください（→P.66）。

Q&A ナンバー
9111-2878



●データのバックアップをおとりください。

修理前の診断作業および修理の結果、ストレージ内に記録されたお客様データが消失する場合があります。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身でDVDなどのディスクや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

バックアップの方法については、「バックアップする」（→P.60）をご覧ください。

・パソコンの故障などによりお客様がバックアップできない場合に、ご利用ください。

PCデータ復旧サービス（有料）

<https://azby.fmworld.net/datarescue/>

修理の申し込み方法

ホームページまたは電話でお申し込みください。

■ホームページ

ネットで故障診断

<https://azby.fmworld.net/webpcrepair/>

パソコンが故障しているかどうかを調べ、ホームページから修理を申し込むことができます。

■電話

「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」(→ P.72) の「使い方、技術相談、修理相談、欠品、すべてこちら」をご覧ください。

お引き取りとお届け (パソコン修理便)

弊社指定の宅配業者がご自宅へパソコンをお引き取りに伺います。お引き取りから修理・お届けまで約7日間です(土・日・祝日を含む)。[注]

注：修理の内容によっては、日数を要する場合があります。離島の場合は船便のための日数がかかります。交通事情などにより、ご指定の日時にお伺いできない場合があります。

■お引き取り日時について

お引き取りは、修理受付の翌日以降、弊社設定の時間帯(9:00～21:00 [注])で指定できます。

注：地域により異なります。お申し込み時にご確認ください。

■お引き取りについて

梱包は宅配業者が行いますので、故障品は梱包せずに玄関先にご準備ください。

- 保証書を用意してください(保証期間中の場合)。宅配業者が故障品といっしょに梱包いたします。
- 宅配業者がお渡する「お預かり伝票」を大切に保管してください。
- お引き取り後のキャンセルについては、診断料を申し受けます。あらかじめご了承ください。

■お届けとお支払いについて

修理完了品を玄関先までお届けします。有料の場合は代金引換払いとなりますので、宅配業者に現金でお支払いください。

●修理料金について

- ・保証期間内(保証開始日より1年間)：無料(保証書記載の「無料修理規定」による)(→ P.73)
- ・保証期間外：有料(修理にかかる部品代、技術料等)

修理状況の確認

ホームページや電話で、修理状況を確認できます。「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」(8桁の番号)を入力してください。

- ホームページでメールアドレスを登録すると、故障品の弊社への到着、お見積もり発行時の連絡、修理完了品の発送、お届け予定日などをお知らせします。

修理状況確認サービス

パソコン・
スマートフォンから

[https://azby.fmworld.net/
support/pcrepair/](https://azby.fmworld.net/support/pcrepair/)



電話の音声ガイダンスでも確認できます

0120-215-265

通話料無料/受付時間：24時間365日

音声ガイダンスに従ってダイヤルを押してください。

- ※ スマートフォンの操作方法については、お使いの機種メーカーにお問い合わせください。
- ※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

その他の修理サービスのご案内

その他の修理サービス一覧

<https://azby.fmworld.net/support/repair/>

次のような修理サービスもご用意しています。詳細はホームページでご確認ください。

- ※ 保証期間内であっても別途料金が必要になります。

●訪問修理サービス(有料)

弊社指定の修理サービス会社をご自宅に伺い、その場で修理を行う有料サービスです。

●PC引取点検サービス(有料)

パソコンを安心して長く使っていただくために、ハードウェア・ソフトウェアの点検や、パソコン内部の清掃を行う有料サービスです。

パソコンを初期状態に戻す（リカバリ）

パソコンを初期状態に戻す（リカバリ）

Windows 11 には、トラブルに備え、パソコンを以前の状態に戻す機能が搭載されています。

パソコンをご購入時に近い状態に戻すことをリカバリと言います。Windows の画面では「この PC を初期状態に戻す」と表示されています。

リカバリを行う場合とは

リカバリすると、パソコンはご購入時に近い状態に戻るため、削除されるデータもあります。

現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。そのため「よくあるトラブルと解決方法」(→P.68)と「富士通アドバイザー」のトラブル解決をご覧ください。すべて対処しても解決しなかった場合のみ行ってください。

重要

- ▶ リカバリするときに回復キーが必要になる場合があります。トラブルに備え、できるだけ早く保管してください。
取得方法は「デバイス暗号化の回復キーを保管する」(→P.38)をご覧ください。
- ▶ リカバリのためのデータは、パソコン内に保存されていますが、そのデータが破損したときは、回復ドライブ（リカバリ用）からリカバリします。
「回復ドライブ（リカバリ用）を作成する」(→P.52)をご覧ください。
- ▶ 回復ドライブ（リカバリ用）を作成していなかったり、破損・紛失してしまったりしたときは、リカバリ USB メモリを購入してリカバリしてください (→P.79)。

Point

- ▶ パソコン内のデータを使用してのリカバリ、回復ドライブ（リカバリ用）、リカバリ USB メモリでは、リカバリ後のパソコンの状態は少しずつ異なります。
「FMV-初期状態に戻す（リカバリ）ガイド」で違いを説明しています。
 ▶ 「すべてのアプリ」▶ 「FMV-初期状態に戻す（リカバリ）ガイド」の順にクリックしてください。

リカバリ方法の種類

ご購入時に近い状態に戻したいときは「すべて削除する」を行ってください。

- すべて削除する
 - ・ ファイルの削除のみ行う
ほぼご購入時の状態に戻ります。セットアップをやり直す必要があります。
 - ・ ドライブを完全にクリーンアップする
消去されるものは「すべて削除する（ファイルの削除のみ行う）」と同じですが、簡単にデータ復元できないように完全に削除されます。そのため操作に数時間^注かかります。他人にパソコンを譲渡するなど完全にデータを削除したいときにお使いください。

注：HDD/SSDの容量が大きいほど長くなります。
3TBの場合は8時間以上かかることもあります。

Point

- ▶ パソコンから「この PC を初期状態に戻す」を行った場合、Windows はロールアップが適用された状態に戻ります。ドライバーは最新のロールアップ適用前に戻ります。
ロールアップとは、修正プログラム、セキュリティ修正プログラム、重要な更新およびアップデートを配布しやすいように1つにまとめた累積的なパッケージです。
- ▶ 回復ドライブ（リカバリ用）からリカバリした場合は、Windows とドライバーはほぼ回復ドライブ（リカバリ用）作成時点の状態に戻ります。
- ▶ このパソコンを購入したときにインストールされていたアプリはインストールされた状態に戻ります。

●個人用ファイルを保持する

一部のデータが保持されるため、Windows のトラブルによってはこの方法で問題解決できないこともあります。

Windows、ドライバー、アプリの状態は「すべて削除する」を行ったときと同じようにほぼご購入時の状態になります。また、使い始めてから作った次のデータや設定は削除されず保持されます。

・クイックアクセスに登録されたフォルダーなどのユーザーの個人用ファイル

個人用ファイルは「C:¥Users」配下のデータです。

ただし、次のパスの配下のデータは消去されます。この配下にはアプリに固有のアプリ設定、ファイル、データが含まれます。

C:¥Users¥[ユーザー名]¥AppData

・「ごみ箱」内のデータ

・ユーザーアカウント

・インターネットや無線LANなどのネットワーク接続設定

・「設定」ウィンドウの設定

消去されないデータについても念のためバックアップをとったり、メモしたりすることをお勧めします。

このPCを初期状態に戻す(リカバリ)準備

リカバリするうえでの注意

■バックアップをとってください

リカバリすると、消去されるデータがあります (→ P.75)。必要なデータはバックアップしてください。詳しくは、「バックアップする」(→ P.60) をご覧ください。

■外付けハードディスクやUSBメモリは必ず取り外してください

接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

■キーボード、マウス以外の周辺機器(プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなどの装置、HDMI 入力/出力端子、USB コネクタに接続しているすべての周辺機器)は取り外してください

接続したままだと本書の手順と異なってしまう場合があります。

■メモリーカードは取り出してください

メモリーカードをセットしていると、本書の手順と異なってしまう場合があります。

■リカバリ中は他の操作をしないでください むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

途中で中断したり、パソコンの電源を切ったりすることはできません。消去されたアプリなどを再インストールしたり、バックアップしたデータを復元したりするとさらに時間がかかります。時間に余裕をもって、じっくりと作業することをお勧めします。

リカバリ中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法

■画面が真っ暗になった

画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。

マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを1回押してください。または、キーボードの     や **[Shift]** を押してください。

それでも復帰(レジューム)しない場合は、電源ボタンをポチッと押してください。

■電源が切れない

電源ボタンを10秒以上(WF-X/G1の場合は4秒以上)押して電源を切ってください。

■エラーメッセージが表示された

次のようなメッセージが表示された場合は、キーボードの **(F12)** を押してください。

OS またはアプリケーションから TPM をクリアする要求が
発行されました。

注意：TPM がクリアされ、暗号化されたデータにアクセス
できなくなります。

<F12> キーを押すと実行します。
<Esc> キーを押すと変更しません。

このPCを初期状態に戻す(リカバリ)

「この PC を初期状態に戻す(リカバリ) 準備」(→ P.76) をよくお読みになり、必要なバックアップなど準備を済ませてから実行してください。

まず「パソコン内のデータからリカバリする」(→ P.77) をご覧になり、リカバリしてください。操作がうまくいかなかった場合や、操作後もパソコンのトラブルが継続した場合は、「回復ドライブ(リカバリ用) からリカバリする」(→ P.78) をご覧になり、リカバリしてください。

Point

- ▶ 回復ドライブ(リカバリ用) からリカバリした場合は、Windows とドライバーはほぼ回復ドライブ(リカバリ用) 作成時点の状態に戻ります。そのためパソコンを現在お使いの状態に戻すには、より手間がかかります。

パソコン内のデータからリカバリする

パソコンの電源が切れた状態から「オプションの選択」画面を表示して操作します。

- 1 キーボードの **(SUPPORT)** を押します。
- 2 **(↓)** を押し、「Windows 回復環境」を選択して **(Enter)** を押します。
- 3 「オプションの選択」画面で、「トラブルシューティング」をクリックします。
- 4 「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「この PC を初期状態に戻す」をクリックします。

- 5 「すべて削除する」をクリックします。

Point

- ▶ 個人用ファイルを保持する場合は「個人用ファイルを保持する」をクリックします。その後の操作は「個人用ファイルを保持する場合は」(→ P.78) をご覧ください。
- 6 回復キーを選択する画面が表示された場合は、「回復キーの入力」をクリックします。
 - 7 「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合は、回復キーを入力し、「続行」をクリックします。
 - 8 「Windows を再インストールする方法を選択します。」と表示された場合は、「ローカル再インストール」をクリックします。
 - 9 「PC にはドライブが複数あります。すべてのドライブからすべてのファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「Windows がインストールされているドライブのみ」または「すべてのドライブ」をクリックします。
 - 10 「この PC で職場のリソースを使えるようにするためのプロビジョニングパッケージを保存します。」と表示された場合は、「はい」をクリックします。
 - 11 通常は「ファイルの削除のみ行う」をクリックします。
データを完全に消去したいときのみ「ドライブを完全にクリーンアップする」を行います。「リカバリ方法の種類」(→ P.75) をご確認ください。
 - 12 「このデバイスをリセットする準備はできていますか?」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。
リカバリが開始されます。電源を切らずにお待ちください。
 - 13 「国または地域はこれでよろしいですか?」という画面が表示されたら、「Windows のセットアップをする」(→ P.23) をご覧になり、セットアップします。
「リカバリ後にセットアップするときの注意」(→ P.79) もあわせてご覧ください。

■個人用ファイルを保持する場合は

「パソコン内のデータからリカバリする」の手順5 (→ P.77) で「個人用ファイルを保持する」をクリックした後の手順です。

- 1 「続けるにはアカウントを選んでください。」と表示された場合は、お使いのアカウントをクリックします。

Point

- ▶ 「このアカウントのパスワードを入力してください。」と表示された場合は、パスワードを入力し、「続行」をクリックしてください。
- 2 回復キーを選択する画面が表示された場合は、「回復キーの入力」をクリックします。
 - 3 「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合は、回復キーを入力し、「続行」をクリックします。
 - 4 「Windows を再インストールする方法を選択します。」と表示された場合は、「ローカル再インストール」をクリックします。
 - 5 「このデバイスをリセットする準備はできていますか？」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。

リカバリが開始されます。電源を切らずにお待ちください。Microsoft アカウントのパスワードまたはPIN 入力を求められた場合は入力してください。顔認証対応Webカメラ搭載機種では、顔の登録をしていると、顔認証でサインインできる場合もあります。

「Microsoft Edge」の設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。デスクトップが表示されたら、リカバリは完了です。

・デスクトップアプリが消去された場合、デスクトップに「削除されたアプリ.html」が作成されます。消去されたデスクトップアプリ一覧が確認できます。

回復ドライブ (リカバリ用) からリカバリする

- 1 電源が切れた状態で、回復ドライブ (リカバリ用) を作成したUSBメモリをパソコン本体のUSBコネクタに接続します。
- 2 キーボードの **SUPPORT** を押します。
- 3 **↓** を押し、接続したUSBメモリを選択し、**Enter** を押します。
- 4 「キーボードレイアウトの選択」が表示されたら、「Microsoft IME」をクリックします。
- 5 「オプションの選択」画面が表示されたら「ドライブから回復する」をクリックします。
- 6 回復キーを選択する画面が表示された場合は、「回復キーの入力」をクリックします。
- 7 「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合は、回復キーを入力し、「続行」をクリックします。
- 8 「PC にはドライブが複数あります。すべてのドライブからすべてのファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「Windows がインストールされているドライブのみ」または「すべてのドライブ」をクリックします。
- 9 通常は「ファイルの削除のみ行う」をクリックします。
データを完全に消去したいときのみ「ドライブを完全にクリーンアップする」を行います。「リカバリ方法の種類」(→ P.75) をご確認ください。
- 10 「このデバイスをリセットする準備はできていますか？」と表示されたら、「回復」をクリックします。
リカバリが開始されます。電源を切らずにお待ちください。
- 11 「国または地域はこれよろしいですか？」という画面が表示されたら、「Windows のセットアップをする」(→ P.23) をご覧になり、セットアップします。
「リカバリ後にセットアップするときの注意」(→ P.79) もあわせてご覧ください。

■リカバリ後にセットアップするときの注意

- 富士通パソコンユーザー登録が済んでいれば、再度行う必要はありません。
- 使い始めてから1年程度たってから回復ドライブ(リカバリ用)やリカバリ USB メモリを使ってリカバリした場合、手動で Windows Update を適用しないと Windows が最新の状態にならない場合があります。
 - ▶  (設定) ▶ 「Windows Update」の順にクリックして更新してください。
- リカバリするとデバイス暗号化の回復キーが変更されます。
新しい回復キーを確認し、メモしてください(→ P.52)。
- デバイス暗号化の対象機種では、すべての手順を終え、セットアップを完了させた後、デバイス暗号化が無効になる場合があります。次の手順でデバイス暗号化の状態を確認し、有効にしてください。
 1.  (設定) ▶ 「プライバシーとセキュリティ」の順にクリックします。
 2. 「デバイスの暗号化」をクリックします。
 3. 「デバイスの暗号化」の (オフ) をクリックして (オン) にします。
- 瞬感起動を設定していた場合は、「瞬感起動を設定する」(→ P.55) をご覧になり、「瞬感起動を有効にする」がオンになっていることをご確認ください。

リカバリ USB メモリを購入してリカバリする

Windows が起動しない場合、回復ドライブ(リカバリ用)を作成していなかったり、破損・紛失してしまったりしたときは、リカバリ USB メモリから起動してご購入時の状態に戻すリカバリを行うと回復できることがあります。

- リカバリ USB メモリを購入してリカバリすると、パソコンはご購入時の状態とまったく同じ状態に戻ります。そのため、セットアップが必要になります。
- リカバリ USB メモリは、ホームページから購入できます。
「リカバリメディア有償サービス」
<https://azby.fmworld.net/support/attachdisk/>

Point

- ▶ リカバリ方法は、リカバリ USB メモリに同梱されたマニュアルをご覧ください。

パソコンの電源を完全に切るには

日常的なパソコンの使用では、この方法で電源を切る必要はありません。

重要

- ▶ 次のような場合は、ここで説明している手順でパソコンの電源を切ってください。
 - ・メモリを取り付ける／取り外す（対象機種のみ）
 - ・BIOS セットアップを起動する
- 上記以外にも、操作前にパソコンの電源を完全に切る必要がある場合があります。
- 詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」－「Windows を終了する」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.59 をご覧ください）。

- 1  (設定) ▶ 「システム」の順にクリックします。
- 2 「回復」をクリックします。
- 3 「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動」をクリックします。
- 4 「今すぐ再起動」をクリックします。
- 5 「オプションの選択」画面が表示されたら、「PC の電源を切る」をクリックします。

起動メニューの表示のしかた

回復ドライブ（リカバリ用）やリカバリ USB メモリから起動する場合などに、起動メニューを表示します。
パソコンの電源が切れた状態から操作を開始します。

- 1 キーボードの **SUPPORT** を押します。

Point

- ▶ 起動時のパスワードを設定している場合は、画面の指示に従ってパスワードを入力してください。
- ▶ 起動メニューが表示されず Windows が起動してしまった場合は、このパソコンの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。

パソコンを廃棄・リサイクルするときは

個人でご使用のお客様が本製品を廃棄する場合は、環境配慮のため次のお申し込みホームページよりお申し込みください。

リサイクルの流れや注意事項などの最新の情報は、お申し込みホームページでご確認ください。

お申し込みホームページ	https://azby.fmworld.net/recycle/ ※スマートフォンからもお申し込みできます。
お問い合わせ電話番号	045-514-2188（通話料金お客様負担） 受付時間 9:00～17:00 （土・日・祝日および弊社指定の指定休日を除く）

Point

- ▶ 過去に販売された LED バックライト付ではない液晶ディスプレイの蛍光管に水銀が含まれているなど、パソコンを廃棄するときは環境配慮が必要です。

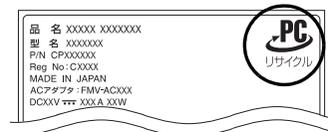
PC リサイクルマークについて

平成 15 年（2003 年）10 月以降に販売された家庭向けパソコンに貼付されているものです。リサイクルマークの付いた使用済み弊社パソコンは、廃棄する際に新たな料金をご負担いただくことなく、廃棄いただけます（法人（個人事業主を含む）、企業は除く）。

PC リサイクルマークのついていない弊社パソコンは、料金をご負担いただければ廃棄を承ります。

料金など詳しくは、お申し込みホームページをご確認ください。

PC リサイクルマーク



- 注1: 装置銘板は機種により異なります。
- 注2: パソコン本体にカバーなどがある機種は、PC リサイクルマークが隠れている場合があります。

重要

- ▶ 法人（個人事業主を含む）、企業のお客様へお申し込みホームページは、個人のお客様を対象にしています。
法人（個人事業主を含む）、企業のお客様向けパソコンリサイクルについては、富士通のホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」（<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>）をご覧ください。

パソコンの廃棄・譲渡時のストレージ上のデータ消去に関するご注意

パソコンを廃棄あるいは譲渡する際、ストレージに記録されたお客様のデータが流出して、再利用される可能性があります。結果的にデータが流出してしまうことがあります。

原因として、パソコンのストレージに記録されたデータは、削除したり、ストレージを再フォーマットしたりしても、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアを利用することで、読み取ることができるからです。

また、ストレージ上のソフトウェアを削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

そのため、パソコンを廃棄あるいは譲渡する際は、ストレージ上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。対策として、専用ソフトウェアやサービス（有料）のご利用をお勧めいたします。

詳しくは、FMV サポートページの「パソコン廃棄、譲渡前の常識！データを消去しよう」(<https://azby.fmworld.net/usage/special/erasedata/>) をご覧ください。

■データ消去ツール

パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の1つとして、専用ソフトウェア「データ消去ツール」が搭載されています。

「データ消去ツール」は、Windows などの OS によるファイル削除やフォーマットと違い、ストレージの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。

「データ消去ツール」の使用方法については、FMV サポートページから Q&A ナンバー「6604-6237」を検索してご覧ください（→ P.66）。

付属品の廃棄について

■使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、Bluetooth マウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投げると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

□個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

□法人（個人事業主を含む）、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分量の許可を取得している会社に処分を委託してください。

■使用済みバッテリーの取り扱いについて

バッテリーパックを交換できる機種のみ

- ・リチウムイオン電池のバッテリーパックは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- ・使用済みバッテリーは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- ・バッテリーを火中に投げると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

□個人のお客様へ

使用済みバッテリーは廃棄せずに充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクル BOX に入れてください。詳しくは、一般社団法人 JBRC [ジェイビーアールシー] のホームページ (<https://www.jbrc.com/>) をご覧ください。一般社団法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。



- ▶ リサイクルにお申し込みいただく場合は、バッテリーパックは外さずに、パソコンといっしょにリサイクルにお出してください。パソコンのリサイクルについては、「パソコンを廃棄・リサイクルするときは」（→ P.80）をご覧ください。

□法人（個人事業主を含む）・企業のお客様へ

法人（個人事業主を含む）、企業のお客様は、富士通のホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」(<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>) をご覧ください。



Li-ion

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いになるときは姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。

- ・直射日光があたらない場所や、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしない場所に設置し、画面の向きや角度を調節しましょう。
- ・画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調節しましょう。
- ・目と画面との距離をとり、疲れにくい位置を保って利用しましょう。
- ・1時間以上続けて作業しないようにしましょう。
- ・続けて作業をする場合には、1時間に10～15分程度の休憩時間をとりましょう。
- ・休憩時間までの間に1～2分程度の小休止を1～2回取り入れましょう。

パソコン本体の主な仕様

ここでは、パソコン本体の主な仕様を紹介しています。なお、パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■仕様の調べ方

仕様について詳しくは「富士通アドバイザー」(→ P.58) の「サポート & サービス情報」の画面から「パソコンの仕様を調べる」を選択して表示されるホームページの内容をご覧ください。なお、仕様の詳細を調べるときに、お使いのパソコンの型名が必要になることがあります。型名は次の場所に記載されています。

- 保証書
- パソコン本体の裏面、または、側面に貼付されたラベル
- 「富士通アドバイザー」(→ P.58) の画面右上



- ▶ 型名の確認方法の詳細は、FMV サポートページから Q&A ナンバー「3702-5873」を検索して参照できます(→ P.66)。

■ESPRIMO WF-X/G1

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.89) をご覧ください。

シリーズ名		FH シリーズ
品名		WF-X/G1
モダンスタンバイ		非対応
CPU 注1		インテル® Core™ i7-10750H プロセッサー (HTテクノロジー対応)
メインメモリ 注2		PC4-3200 (DDR4-3200) SDRAM SO-DIMM、CL22 260ピン 注10
	標準容量	【以下より選択可能】 8GB (4GB×2) デュアルチャネル対応 / 16GB (8GB×2) デュアルチャネル対応 / 32GB (16GB×2) デュアルチャネル対応 / 64GB (32GB×2) デュアルチャネル対応
	最大容量	64GB
テレビチューナー		【以下より選択可能】 なし / BS4K・110度CS4K・地上デジタル・BS デジタル・110度CS デジタル
光学ドライブ 注3		【以下より選択可能】 スーパーマルチドライブ (DVD±R DL(2層) 書き込み対応) / Ultra HD Blu-ray™ & BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)
無線 LAN 注4	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac /ax 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) (Wi-Fi CERTIFIED6™ 準拠) 注5
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式 注6
電源供給方式	AC アダプタ	AC 入力 AC100 ~ 240V 50/60Hz 注7、出力 DC20V (7.5A)
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください (→ P.82)。
外形寸法(幅 × 奥行 × 高さ) (突起部含まず)		約616mm × 約170mm × 約442mm (本体最小傾斜時) 約616mm × 約170mm × 約443mm (本体最大傾斜時)
本体質量		約 12.9kg

■ESPRIMO FH90/F3

注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.89) をご覧ください。

シリーズ名	FH シリーズ	
品名	FH90/F3	
モダスタンバイ	対応	
CPU 注1	インテル® Core™ i7-1165G7プロセッサ (HTテクノロジー対応)	
メインメモリ 注2	PC4-3200 (DDR4-3200) SDRAM SO-DIMM、CL22 260ピン	
	標準容量	16GB (8GB×2) デュアルチャネル対応
	最大容量	64GB
テレビチューナー	地上デジタル・BS デジタル・110度CS デジタル	
光学ドライブ 注3	BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)	
無線LAN 注4	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) (Wi-Fi CERTIFIED6™ 準拠) 注5
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式 注6
電源方式	AC アダプタ	AC 入力 AC100 ~ 240V 50/60Hz 注7、出力 DC19V (5.27A)
消費電力	ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください (→ P.82)。	
外形寸法(幅 × 奥行 × 高さ) (突起部含まず)	約616mm × 約170mm × 約442mm (本体最小傾斜時) 約616mm × 約170mm × 約443mm (本体最大傾斜時)	
本体質量	約 13.3kg	

■ESPRIMO WF2/F3

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。
注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.89)をご覧ください。

シリーズ名		FH シリーズ
品名		WF2/F3
モダンスタンバイ		対応
CPU 注1		インテル® Core™ i7-1165G7プロセッサ (HTテクノロジー対応)
メインメモリ 注2		PC4-3200 (DDR4-3200) SDRAM SO-DIMM、CL22 260ピン
	標準容量	【以下より選択可能】 8GB (4GB×2) デュアルチャネル対応/ 16GB (8GB×2) デュアルチャネル対応/ 32GB (16GB×2) デュアルチャネル対応/ 64GB (32GB×2) デュアルチャネル対応
	最大容量	64GB
テレビチューナー		【以下より選択可能】 なし/ 地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル
光学ドライブ 注3		【以下より選択可能】 スーパーマルチドライブ (DVD±R DL(2層)書き込み対応) / BDXL™対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)
無線LAN 注4	規格	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac /ax 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) (Wi-Fi CERTIFIED6™ 準拠) 注5
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式 注6
電源供給方式	AC アダプタ	AC 入力 AC100 ~ 240V 50/60Hz 注7、出力 DC19V (5.27A)
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください (→ P.82)。
外形寸法(幅 × 奥行 × 高さ) (突起部含まず)		約616mm × 約170mm × 約442mm (本体最小傾斜時) 約616mm × 約170mm × 約443mm (本体最大傾斜時)
本体質量		約 13.3kg

■ESPRIMO FH77/F3

注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.89) をご覧ください。

シリーズ名	FH シリーズ	
品名	FH77/F3	
モダンスタンバイ	対応	
CPU 注1	インテル® Core™ i7-1165G7プロセッサ (HTテクノロジー対応)	
メインメモリ 注2	PC4-3200 (DDR4-3200) SDRAM SO-DIMM、CL22 260ピン	
	標準容量	8GB (4GB×2) デュアルチャネル対応
	最大容量	32GB
テレビチューナー	地上デジタル・BS デジタル・110度CS デジタル	
光学ドライブ 注3	BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)	
無線LAN 注4	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) (Wi-Fi CERTIFIED 6™ 準拠) 注5
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式 注6
電源方式	AC アダプタ	AC 入力 AC100 ~ 240V 50/60Hz 注7、出力 DC19V (4.74A)
消費電力	ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください (→ P.82)。	
外形寸法(幅 × 奥行 × 高さ) (突起部含まず)	約544mm × 約174mm × 約385mm (本体最小傾斜時)	
	約544mm × 約174mm × 約386mm (本体最大傾斜時)	
本体質量	約6.4kg	

■ESPRIMO WF1/F3

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。
注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.89) をご覧ください。

シリーズ名		FH シリーズ
品名		WF1/F3
モダンスタンバイ		対応
CPU 注1		【以下より選択可能】 インテル® Core™ i7-1165G7 プロセッサ (HT テクノロジー対応) / インテル® Core™ i3-1115G4 プロセッサ (HT テクノロジー対応) / インテル® Celeron® 6305 プロセッサ
メインメモリ 注2		PC4-3200 (DDR4-3200) SDRAM SO-DIMM、CL22 260ピン
	標準容量	【以下より選択可能】 4GB (4GB×1) デュアルチャネル対応可能 / 8GB (4GB×2) デュアルチャネル対応 / 16GB (8GB×2) デュアルチャネル対応 / 32GB (16GB×2) デュアルチャネル対応
	最大容量	32GB
テレビチューナー		【以下より選択可能】 なし / 地上デジタル・BS デジタル・110度CS デジタル 注9
光学ドライブ 注3		【以下より選択可能】 スーパーマルチドライブ (DVD±R DL (2層) 書き込み対応) / BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)
無線LAN 注4	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) (Wi-Fi CERTIFIED 6™ 準拠) 注5
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式 注6
電源方式	AC アダプタ	AC 入力 AC100 ~ 240V 50/60Hz 注7、出力 DC19V (4.74A)
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください (→ P.82)。
外形寸法(幅 × 奥行 × 高さ) (突起部含まず)		約544mm × 約174mm × 約385mm (本体最小傾斜時) 約544mm × 約174mm × 約386mm (本体最大傾斜時)
本体質量		約6.2kg ~ 約6.4kg

■ESPRIMO FH70/F3、FH60/F3

注記については、「仕様一覧の注記について」(→P.89)をご覧ください。

シリーズ名	FH シリーズ	
品名	FH70/F3	FH60/F3
モダンスタンバイ	対応	
APU/GPU 注1 注8	AMD Ryzen™ 7 5700Uモバイル・プロセッサ + AMD Radeon™グラフィックス	AMD Ryzen™ 5 5500Uモバイル・プロセッサ + AMD Radeon™グラフィックス
メインメモリ 注2	PC4-3200 (DDR4-3200) SDRAM SO-DIMM、CL22 260ピン	
	標準容量	8GB (4GB×2) デュアルチャンネル対応
	最大容量	32GB
テレビチューナー	-	
光学ドライブ 注3	スーパーマルチドライブ (DVD±R DL (2層) 書き込み対応)	
無線LAN 注4	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) (Wi-Fi CERTIFIED 6™ 準拠) 注5
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式 注6
電源方式	AC アダプタ	AC 入力 AC100 ~ 240V 50/60Hz 注7、出力 DC19V (4.74A)
消費電力	ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください (→P.82)。	
外形寸法(幅 × 奥行 × 高さ) (突起部含まず)	約544mm × 約174mm × 約385mm (本体最小傾斜時)	約544mm × 約160mm × 約361mm (本体最小傾斜時)
	約544mm × 約174mm × 約386mm (本体最大傾斜時)	約544mm × 約160mm × 約362mm (本体最大傾斜時)
本体質量	約6.3kg	約6.3kg

■ESPRIMO WFB/F3

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。
注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.89) をご覧ください。

シリーズ名		FH シリーズ
品名		WFB/F3
モダンスタンバイ		対応
APU/GPU 注1 注8		【以下より選択可能】 AMD Ryzen™ 7 5700Uモバイル・プロセッサ + AMD Radeon™ グラフィックス / AMD Ryzen™ 5 5500Uモバイル・プロセッサ + AMD Radeon™ グラフィックス
メインメモリ 注2		PC4-3200 (DDR4-3200) SDRAM SO-DIMM、CL22 260 ピン
	標準容量	【以下より選択可能】 4GB (4GB×1) デュアルチャネル対応可能 / 8GB (4GB×2) デュアルチャネル対応 / 16GB (8GB×2) デュアルチャネル対応 / 32GB (16GB×2) デュアルチャネル対応
	最大容量	32GB
テレビチューナー		—
光学ドライブ 注3		【以下より選択可能】 スーパーマルチドライブ (DVD±R DL (2層) 書き込み対応) / BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ (スーパーマルチドライブ機能対応)
無線LAN 注4	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) (Wi-Fi CERTIFIED 6™ 準拠) 注5
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式 注6
電源方式	AC アダプタ	AC 入力 AC100 ~ 240V 50/60Hz 注7、出力 DC19V (4.74A)
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください (→ P.82)。
外形寸法(幅 × 奥行 × 高さ) (突起部含まず)		約544mm × 約174mm × 約385mm (本体最小傾斜時) 約544mm × 約174mm × 約386mm (本体最大傾斜時)
本体質量		約 6.3kg

仕様一覧の注記について

- 注 1 ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。
- 注 2
- ・パリティチェック機能はありません。
 - ・メモリの組み合わせによっては、最大メモリ容量にするために、メモリスロットに搭載済みのメモリを取り外してから、別売の増設メモリを取り付ける必要があります。
 - ・ご購入時のメモリの組み合わせなど詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』の「取り扱い」－「メモリ」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.59 をご覧ください）。
- 注 3 読み出し、書き込み速度については、ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。仕様一覧の表示方法は「仕様
の調べ方」をご覧ください（→ P.82）。
- 注 4 無線 LAN の仕様については、『取扱説明書<活用ガイド>』の「使いこなすために」－「通信」－「無線 LAN」をご覧ください（『取扱説明書<活用ガイド>』の読み方は P.59 をご覧ください）。
- 注 5 Wi-Fi[®] 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance[®]」の相互接続性テストに合格していることを示します。
- 注 6 IEEE 802.11n 準拠、IEEE 802.11ac 準拠、IEEE 802.11ax 準拠を使用したときは、MIMO 方式にもなります。
- 注 7
- ・標準添付されている電源ケーブルは AC100V（国内専用）です。また、矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続されると、故障する場合があります。
 - ・入力波形は正弦波のみサポート。
- 注 8 APU（Accelerated Processing Unit）は 1 つ、もしくは 2 つ以上の CPU と外付けグラフィックス相当のコアが融合した AMD のプロセッサです。
- 注 9 CPU にインテル[®] Celeron[®] 6305 プロセッサを選択した場合は、テレビチューナーを選択できません。
- 注 10 PC4-2933 で動作します。

富士通パーソナルコンピュータ修理規定

最新版はホームページに掲載しています。
<https://azby.fmworld.net/support/repair/syurikitei/>

第1条 (本規定の適用)

- 富士通クライアントコンピューティング株式会社(以下「当社」といいます)は、お客様が当社のFMVサポートお問い合わせ窓口にて修理の依頼をされた場合、または当社の専用ホームページ「<https://azby.fmworld.net/support/repair/index.html>」(以下「専用ホームページ」といいます)にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合および販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されないものとします。
- 前項に基づき当社が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次条に定める対象機器と同梱されている保証書(以下「保証書」といいます)裏面の無料修理規定(以下「無料修理規定」といいます)の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が有効に適用されるものとします。

第2条 (対象機器)

本規定に基づく修理の対象となる機器(以下「対象機器」といいます)は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製パーソナルコンピュータ(詳細は本規定末尾記載、以下同じ)および当該日本国内向け当社製パーソナルコンピュータ用の当社製周辺機器(ただしプリンタは除きます)とします。

第3条 (修理の形態)

- 当社は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等を伺いながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると当社が判断した場合に、次のいずれかの形態により修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があります。
 - 引取修理(パソコン修理便)
お客様のご自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。
 - 訪問修理
訪問修理が可能な製品について、お客様が訪問修理を希望された場合は、当社指定の修理サービス会社の担当者がお客様のご自宅を訪問し、修理作業を行います。なお、訪問料は、保証書で特に無料と定められている場合を除き、保証期間の内外を問わず、別途有料となります。また、離島の一部地域では、訪問料とは別に訪問に要する実費(フェリー代、宿泊代等)をお客様にご負担いただく場合があります。
- 前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が外付けキーボード、マウス、ACアダプタにあると当社が判断した場合は、当社は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から当社に送付していただきます。

第4条 (保証期間内の修理)

- 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、当社は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。
- 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
 - 保証書が対象機器に添付されていない場合
 - 保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合
 - ご使用上の誤り(水などの液体こぼれ、水没、落下等)、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
 - 当社指定の有寿命部品、消耗品(バッテリー、乾電池等)または定期交換部品の自然消耗、磨耗、劣化により部品の交換が必要となった場合
 - 接続している他の機器、非純正品、不適当な消耗品またはメディアのご使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合
 - ご購入上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合
 - 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合(例:対象機器にプレインストールまたは添付されたソフトウェア製品に起因する不具合、ウイルス感染による不具合等をい、以下同じとします)の場合
 - お客様が設定されたパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、メインボード、本体カバーその他の部品の交換が必要になった場合
 - お客様の使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障・損傷の場合(例:埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等)
- 第1項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても、別途それぞれの料金が発生するものとします。
 - 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
 - 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合で、ソフトウェアの再インストールにより復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフトウェア再インストール料

第5条 (保証期間外の修理)

- お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、当社は、有料で修理を行います。
- 次の各号のいずれかに該当する場合は、修理料金の他にそれぞれの料金が発生するものとします。
 - 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
 - ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合で、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料
- お客様による修理のご依頼が保証期間外の引取修理の場合であって、お客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと当社が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合(第6条第2項および第3項に定める場合を含みます)であっても、診断料が発生するものとします。
- お客様による修理のご依頼が保証期間外の訪問修理の場合であって、当社指定の修理サービス会社の担当者が、訪問先でお客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと判断した場合は、当該診断作業に対して訪問料と診断料が発生するものとします。また、担当者がお客様ご指定の場所に訪問し、修理作業に入る前に修理のご依頼をキャンセルされた場合は、訪問料が発生するものとします。

第6条 (修理料金の見積もり)

- 修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、当社は、引取修理の場合は対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとし、訪問修理の場合は訪問前にお客様から現象や使用環境等伺った内容に基づき診断を行い、概算の見積金額をお知らせするものとします。当社もしくは当社指定の修理サービス会社の担当者は、当該見積金額での修理について、お客様にご了承いただいたうえで、修理を行います。ただし、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。
- 前項のうち引取修理の場合であって、お客様に見積金額をお知らせした日から1か月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、当社は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。
- 第1項のうち引取修理の場合であって、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要性が生じた場合には、当社は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただいたうえで、修理を継続いたします。なお、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただけなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、当社は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第7条 (修理料金等の支払い方法)

第4条または第5条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただけます。

第8条 (修理期間)

- 引取修理の場合、当社は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として7日間に対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7日間を超える場合があります。
 - お客様から伺った故障の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合
 - 引取修理の場合であって、引き取り先が離島の場合
 - 有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合
 - お客様の都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合
 - 天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合
 - 第12条第1項に定める補修用性能部品が在庫切れの場合

第9条 (修理品の保管期間)

引取修理の場合であって、修理完了後にお客様に修理の完了および返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、当社は、対象機器をお預かりした日から6か月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、当社はお客様に対し、当該保管に要した費用および当該処分に必要な費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

第10条 (故障部品の取り扱い)

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、当社は、当該故障部品をお客様に返却しないものとします。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、当社の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

第 11 条 (修理ご依頼時の注意事項)

お客様は、修理をご依頼されるに当たり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただくものとします。

- (1) お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器と同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。
- (2) お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置 (ハードディスク等) に記憶されたデータ、プログラムおよび設定内容 (以下総称して「データ等」といいます) につきましては、当社では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとっていただくものとします。(日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。) なお、修理および修理前の診断作業の過程で、データ等が変化・消去される場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合 (第 6 条に定める場合を含みます) でも、当該キャンセルの時点で既に当社が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が変化・消去されている場合があります。
- (3) 当社は、修理および修理前の診断作業の過程で、インターネットへの接続確認等の目的で対象機器をインターネットに接続する場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合 (第 6 条に定める場合を含みます) でも、当該キャンセルの時点で既に当社が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程で対象機器がインターネットに接続されている場合があります。また、当該接続によりデータ等が変化・消去される等の問題が生じ、当該問題を解決するために必要と判断した場合、データ等を変更、消去等する場合があります。
- (4) 修理完了後のオペレーティングシステム (OS) ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセットアップ等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。
- (5) お客様ご自身で貼り付かれたシール等につきましては、取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。
- (6) 当社は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き当社では一切責任を負わないものとします。
- (7) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除したうえで修理をご依頼いただくものとします。
- (8) 対象機器の修理とは関係のない記録媒体 (CD、DVD、メモリーカード、フロッピーディスク、MO 等)、他の機器との接続ケーブル、および添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態のまま修理をご依頼いただいた場合、当社ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。
- (9) 修理のご依頼時に、当該修理にリカバリディスクが必要である旨当社からお客様にお知らせした場合は、お客様は必ず対象機器に同梱されているリカバリディスクを添付いただくものとします。
- (10) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。
 - a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理
 - b. ウィルスの除去
 - c. ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換
 - d. 有機 EL ディスプレイの焼き付きが存在する場合の修理・交換
 - e. データ等のバックアップおよび復旧作業
- (11) 訪問修理の場合であって、当社または当社指定の修理サービス会社がお客様への訪問日程調整のご連絡に努めたにもかかわらず、ご連絡がつかない状態が 2 週間以上継続した場合は、修理をキャンセルされたものとみなすことがあります。

第 12 条 (補修用性能部品)

1. 補修用性能部品は、製品の機能を維持するために必要な部品をいい、故障部品と機能、性能が同等な部品 (再利用品および第 10 条に定める故障部品の再利用も含む) とします。
2. 当社における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第 13 条 (個人情報の取り扱い)

1. 当社は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報 (以下「お客様の個人情報」といいます) につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。

- (1) 修理を実施すること。
- (2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。
- (3) お客様に有益と思われる当社または当社の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。
- (4) お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、および当該同意を得た利用目的に利用すること。

2. 当社は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。
3. 当社は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第 1 項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第 14 条 (責任の限定)

1. 当社が実施した修理に当社の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より 3 か月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より当社にご連絡いただいた場合、当社は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、ここでいう瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。
2. 対象機器の修理に関連して当社がお客様に対して損害賠償責任を負う前、前項の瑕疵が修理されなかった場合には、当社は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとします。
3. 対象機器の修理に関連して当社がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。また、当社は、当社の責に帰すことのできない事由から生じた損害、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、責任を負わないものとします。
4. 対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、当社の故意または重過失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

第 15 条 (変更)

1. 当社は、本規定の内容を変更する必要がある場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。
2. 当社が本サービスにかかる事業を第三者に譲渡する場合には、お客様の承諾を得ることなく、当該事業譲渡に伴い、本規約に基づく権利および義務ならびにお客様の登録情報その他の情報等を当該事業譲渡の譲受人に譲渡することができるものとします。なお、本項に定める事業譲渡には、通常の事業譲渡のみならず、会社分割その他事業が移転するあらゆる場合を含むものとします。

第 16 条 (反社会的勢力等の排除)

1. お客様は、自らが次の各号に記載する者 (以下、「反社会的勢力等」という) に該当せず今後も該当しないこと、また、反社会的勢力等との関係を持っておらず今後も持たないことを確約します。
 - (1) 警察庁「組織犯罪対策要綱」記載の「暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団等」その他これらに準ずる者
 - (2) 資金や便宜を供与したり、不正の利益を図る目的で利用するなど、前号に記載する者との人的・資本的・経済的に深い関係にある者
2. お客様は、自らまたは第三者を利用して、次の各号に記載する行為を行わないことを確約します。
 - (1) 詐術、暴力的行為または脅迫的言辞を用いる行為
 - (2) 違法行為または不当要求行為
 - (3) 業務を妨害する行為
 - (4) 名誉や信用等を毀損する行為
 - (5) 前各号に準ずる行為
3. 当社は、お客様が前各項に違反したときは、お客様に対して損害賠償責任を負うことなく、何等の催告なしにただちに本規定に基づく対象機器の修理および関連するサービスの提供を中止または拒否することできるものとします。

第 17 条 (専属的合意管轄裁判所)

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

付則

本規定は、2021 年 11 月 22 日から実施します。

■対象機器

- 注 1 注 2
当社または富士通株式会社製のパーソナルコンピュータ/タブレット
・ARROWS Tab シリーズ (個人向け Windows タブレット)
・arrows Tab シリーズ (個人向け Windows タブレット)
・FMV シリーズ
・FMV STYLISTIC QH シリーズ
・ESPRIMO / LIFEBOOK シリーズ
・FMV Lite シリーズ
・FMV Chromebook シリーズ注 3 注 4
・その他、当社が別途「対象機器」と定める、富士通株式会社または富士通クライアントコンピューティング株式会社の製品

- 注 1 日本国内個人向け商品に限りま。
- 注 2 ソフトウェアについては、上記製品にあらかじめインストールされているもののうち、当社がサポートするもののみが対象となります。
- 注 3 FMV Chromebook シリーズにつきましては、第 3 条第 1 項 (2) 訪問修理の対象外とさせていただきます。
- 注 4 FMV Chromebook シリーズにつきましては、第 11 条 (2) において必ずデータ消去されます。

■商標および著作権について

Intel、インテル、Intel Core、Celeron は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
AMD、Radeon、Ryzen ならびにこれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices ,Inc. の商標です。
Corel、Corel バルーンロゴ、PaintShop、AfterShot、Painter、Essentials、CorelDRAW、PhotoMirage は、カナダ、アメリカ合衆国および / またはその他の国の Corel Corporation および / またはその関連会社の商標または登録商標です。
McAfee、マカフィー、McAfee のロゴ、McAfee LiveSafe、およびマカフィー リブセーフは、米国法人 McAfee, LLC もしくは米国の国内外にあるその関係会社の商標または登録商標です。
デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター /i-フィルター はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
Learn to Speak English は、eLanguage.LLC の米国における登録商標です。

SDXC ロゴは、SD-3C, LLC. の商標です。 

HDMI, High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。 

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士通クライアントコンピューティング株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

Google、Google ロゴ、Google Play、Android は、Google LLC の商標または登録商標です。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU CLIENT COMPUTING LIMITED 2022

ESPRIMO

取扱説明書<スタートガイド>

B6FK-7251-01-01

発行日：2022年4月

発行責任：富士通クライアントコンピューティング株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田 1-1-2

新川崎三井ビルディング (ウエストタワー)

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

■ローマ字入力表

わ WA	ら RA	や YA	ま MA	は HA	な NA	た TA	さ SA	か KA	あ A
	り RI		み MI	ひ HI	に NI	ち TI	し SI	き KI	い I
を WO	る RU	ゆ YU	む MU	ふ FU	ぬ NU	つ TU	す SU	く KU	う U
	れ RE		め ME	へ HE	ね NE	て TE	せ SE	け KE	え E
ん NN	ろ RO	よ YO	も MO	ほ HO	の NO	と TO	そ SO	こ KO	お O
っ LTU	あ LA			ぱ PA	ば BA	だ DA	ざ ZA	が GA	
ゃ LYA	い LI			ぴ PI	び BI	ぢ DI	じ ZI	ぎ GI	
ゅ LYU	う LU			ぷ PU	ぶ BU	づ DU	ず ZU	ぐ GU	ヴ VU
ょ LYO	え LE			ぺ PE	べ BE	で DE	ぜ ZE	げ GE	
	お LO			ぽ PO	ぼ BO	ど DO	ぞ ZO	ご GO	

小さい文字
小さい文字を入力するときは、最初に「L」を押します。

※ 上記は基本的な一覧です。詳しくは、FMV サポートページ(https://azby.fmworld.net/usage/beginners_guide/romaji/)をご覧ください。

※ 小さい「っ」は、子音 (AIUEO 以外) を 2 回続けて押しても入力できます (例：にっき→NIKKI)。

■アカウントのメモ

※ 記入した情報は、第三者に漏れないように十分に注意して管理してください。

Microsoft アカウント



@

※パスワードも、絶対に忘れないようにしてください。

※PINも、絶対に忘れないようにしてください。

富士通パソコンユーザー登録情報

ユーザー登録番号

メールアドレス
(My Cloud ID)



@

※パスワードも、絶対に忘れないようにしてください。

富士通パソコン出張サービス PC家庭教師

パソコン設定はおまかせを!

設定や操作に困ったら、お電話ください。
プロがご自宅にお伺いし、解決します!



初期設定メニュー

めんどろなMicrosoft
アカウントも登録します。
以下の作業に加え、データ移行も含んだお得なパックも
ご用意。お気軽にご相談を!

主な作業内容



開梱・設置
初期設定



操作レッスン
(15分)



有線ネット・
メール設定
(1アカウント)



プリンタ
設定(1台)



ウイルス
対策設定
(搭載アプリのみ)

My Cloud プレミアム特典価格★

14,480円 (税込) 円~

(通常価格18,100円~)

トラブル解決メニュー

プロが迅速に対応します!※1

トラブル事例



ネットに
つながらない



起動しない



ウイルスに
感染した



周辺機器が
接続できない



アップデート後の
不調



メールが
送信できない

My Cloud プレミアム特典価格★

9,760円 (税込) 円~

(通常価格12,200円~)

メンテナンスメニュー

ネット検索や起動が
「遅くなった」と感じたら
メンテナンスで改善を!※2

My Cloud プレミアム特典価格★

13,680円 (税込) 円~

(通常価格17,100円~)

活用相談メニュー

お客様のやりたいを支援!

- ・ パソコン基本操作
- ・ ワード/エクセル
- ・ ネットショッピング など

My Cloud プレミアム特典価格★

10,260円 (税込) 円~

(通常価格17,100円~)

通話料
無料

0120-37-2794

■ 受付時間: 10時~19時 (年末年始、システムメンテナンス日を除く)

みんなつなぐよ

Webからも予約可能
詳細はホームページで!

富士通 家庭教師

検索

★ My Cloud プレミアム特典価格: FMVを「安心」「お得」「便利」にお使いいただくための月額有料サービスにご加入いただいた場合の価格です。詳しくはWebをご覧ください。

富士通 あんしん

検索

電話+リモートサポートでの活用相談サービス【月額課金】

FMVまなびナビ ワンポイントレッスン

ワンポイントレッスンで、パソコンをもっと楽しく!もっと活用!

ワンポイントレッスンとは

- ・ パソコン活用の「困った!」「どうすれば良いの?」をサポートします!
- ・ WordやExcel、Outlook、ネットサービス、SNSなどにも対応!
- ・ 電話かけ放題※だから困ったらすぐお電話できます!

※無制限コースの場合

詳しくはWebをご確認ください

富士通 まなびナビ ワンポイントレッスン

検索



※1 診断の結果、トラブル解決に必要な作業が発生した場合、作業に応じたオプション料金がかかります。

※2 パソコンの状態によっては著しい改善が見込めない場合もございます。

※ 電話での技術相談をご希望の場合は「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ サービス内容、価格は2022年1月時点のもので、予告なく変更する場合がございます。